

研究業績：診療局 内科

《総合内科・感染症内科》

(1) 和文原著、総説、著書

番号	整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1		E型肝炎の輸入感染症例報告	左近直美 弓指孝博 藤岡 研 関 雅之 木下真孝 三島伸介 入交重雄 倭 正也 石井孝司	病原微生物検出情報 Infectious Agents Surveillance Report (IASR)	Vol.37 No.2 (No.432)	19-20	2016

(2) 国内学会報告

番号	整理	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1		エボラ出血熱疑い例として対応した西 アフリカからの渡航者における熱帯熱 マラリアの2例	関 雅之 葛城有希子 木下真孝 三島伸介 入交重雄 倭 正也	第112回日本内科学会総会・ 講演会 医学生・研修医の日 本内科学会ことはじめ 2015 京都	ポスター	2015.4.11
2		2014/2015シーズンの当院における高 齢者インフルエンザ肺炎患者の臨床的 検討	河合弘幸 関 雅之 葛城有希子 三島伸介 木下真孝 入交重雄 倭 正也	第112回日本内科学会総会・ 講演会 医学生・研修医の日 本内科学会ことはじめ 2015 京都	ポスター	2015.4.11
3		外国人患者に優しい病院:りんくう総合 医療センターの現状	入交重雄	第18回日本医学英語教育学 会学術集会	口演	2015.7.18
4		急性巣状糸球体腎炎の2例	木下真孝 三島伸介 関 雅之 藤岡 研 葛城有希子 入交重雄 倭 正也 西澤 哲 萩野恵三	第209回日本内科学会近畿 地方会	口演	2015.9.12
5		西日本における海外からの輸入感染症 とその対応	倭 正也	日本旅行医学会第2回関西 感染症・ワクチンセミナー	口演	2015.10.4
6		ICTラウンドにおけるカンジダ菌血症へ の取り組み	須合恵美 中川智代 山田 豊 玉置俊治 倭 正也	第58回日本感染症学会中日 本地方会学術集会	口演	2015.10.15
7		エボラ出血熱疑い例として対応した西 アフリカからの渡航者における熱帯熱 マラリアの2例	関 雅之 木下真孝 三島伸介 倭 正也	第85回日本感染症学会西日 本地方会学術集会	口演	2015.10.16
8		シクロフォスファミド大量静注療法 (IVCY)が著効したステロイド抵抗性筋 膜炎脂肪織炎症候群(FPS)2症例	入交重雄 関 雅之 谷本和紀 葛城有希子 藤岡 研 木下真孝 三島伸介 倭 正也	第30回日本臨床リウマチ学 会	口演	2015.11.21
9		A Suspected Case of Loiasis as an Imported Infectious Disease in Japanese Overseas Traveler	Nobuyuki Mishima, Toshimasa Nishiyama, Masaya Yamato, Makoto Itoh, Shigeo Irimajiri, Masanori Kinoshita, Ken Fujioka, Yukiko Katsuragi, Masayuki Seki	第56回日本熱帯医学会大会	口演	2015.12.5
10		敗血症性急性腎傷害(Septic AKI) に おける第一選択の急性血液浄化療法と してのContinuous PMX-DHPの可能性	倭 正也	第20回エンドトキシン血症救 命治療研究会	口演	2016.1.30
11		救急分野における感染対策の重要性と 課題	倭 正也	第31回日本環境感染学会総 会・学術集会	シンポジ ウム口演	2016.2.19
12		移動性皮下腫瘍を呈した渡航関連感 染症の1例	西村俊輝 三島伸介 関 雅之 藤岡 研 木下真孝 入交重雄 伊藤 誠 倭 正也	第211回日本内科学会近畿 地方会	口演	2016.3.26

(3) 研究会・講演会

番号 整理	演 題	発 表 者	研 究 会 名	年 月 日
1	『総合内科が面白い！～りんくう総合医療センター総合内科・感染症内科における診療内容～』	倭 正也	Geriatric Clinical Forum 2015	2015.4.3
2	関節リウマチの病態と治療	入交重雄	第5回近畿セミナー	2015.5.23
3	クロージング Atypical HUS:本日の総括と今後の展望	倭 正也	Meet the Experts of Atypical HUS 2015	2015.9.9

(4) 学術講演・講義

番号 整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	慢性期病態学 免疫・アレルギー疾患	入交重雄	関西医療大学保健看護学科特別講義	2015.6.11 2015.7.2
2	エボラ出血熱の現状と医療現場から見てきた課題	倭 正也	阪神地区感染症懇話会	2015.6.12
3	MERS対応について	倭 正也	大阪府MERSにかかる連絡会	2015.6.16
4	『重症感染症における治療と薬剤選択～エボラ・MERS・新型インフルエンザを中心に～』	倭 正也	大阪府病院薬剤師会第17支部研修会	2015.12.1
5	エボラ出血熱に対する国内対応	倭 正也	大阪市立総合医療センター感染症研修会	2016.2.12
6	新興・再興感染症	倭 正也	大阪医科大学衛生学・公衆衛生学講義	2015.2.25
7	中東呼吸器症候群(MERS)	倭 正也	市立豊中病院:中東呼吸器症候群(MERS)に関する研修会	2016.3.8
8	最近話題の輸入感染症(エボラ出血熱、MERSなど)について	倭 正也	大阪府医師会医学会学術講演会	2015.3.31

(5) 院内研究活動

番号 整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
1	感染対策	倭 正也	2015年度りんくう総合医療センター新規採用者研修	2015.4.2
2	関節リウマチの治療について	入交重雄	第180回臨床集談会	2015.5.28
3	エボラ出血熱疑い例として対応した西アフリカからの渡航者における熱帯熱マラリアの2例	関 雅之	第180回臨床集談会	2015.5.28
4	中東呼吸器症候群(MERS) ～韓国での感染拡大を受けて～	倭 正也	2015年度院内感染対策研修会、感染症センター運営委員会研修会	2015.6.8 2015.6.11
5	食餌媒介性の寄生虫感染症	三島伸介	第181回臨床集談会	2015.6.15
6	やさしい耐性菌のはなし	藤岡 研	2015年度院内感染対策研修会	2015.6.17
7	新型インフルエンザに対するわが国の行動計画・治療指針	倭 正也	2015年度りんくうカンファレンス	2015.7.16
8	知ってますか？昨今、話題の感染症について～デング熱、エボラ出血熱、MERS、新型インフルエンザ～	倭 正也	2015年度りんくう総合医療センター市民健康講座	2015.7.18
9	感染を広げないために	藤岡 研	2015年度院内感染対策DVD研修会	2015.9.7
10	急性巣状細菌性腎炎の2例	木下真孝	第184回臨床集談会	2015.9.24

(6) 座長

番号 整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	医学生・研修医の「日本内科学会ことはじめ」感染症3	倭 正也	第112回日本内科学会総会・講演会2015京都	2015.4.11
2	感染症1	倭 正也	第208回日本内科学会近畿地方会	2015.6.27
3	アレルギー・膠原病2	入交重雄	第208回日本内科学会近畿地方会	2015.6.27
4	日本の医療通訳の展望:グローバル時代における日本の医療通訳の在り方	入交重雄	第18回日本医学英語教育学会学術集会	2015.7.18
5	一般口演3	三島伸介	第19回日本渡航医学会学術集会	2015.7.26
6	①MTX関連リンパ腫とは何か ②リウマチ治療における整形外科医のpitfall ③症例検討	入交重雄	第4回泉州リウマチ膠原病談話会	2016.2.20
7	一般演題 井手亮太先生 特別演題 松田直之先生	倭 正也	敗血症治療セミナー	2016.3.25

《内分泌代謝内科》

(1) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	当院における糖尿病教育入院患者の退院後運動療法の継続状況について	河野真也	第58回日本糖尿病学会年次学術集会	ポスター	2015.5.22
2	聞き取りのみでは米飯摂取量の実情は把握しきれない:米飯粒状フードモデルの効用	住井諭美	第58回日本糖尿病学会年次学術集会	口演	2015.5.22
3	GLP-1製剤によって認知機能・治療意欲の改善を認めた、2型糖尿病併存認知症患者の一例	清水勇雄	第34回日本認知症学会学術集会	口演	2015.10.2

(2) 学術講演・講義

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	第1回 現代の疾病構造と慢性疾患	大野 昭	放送大学面接授業	2015.12.12
2	第2回 糖尿病の生命科学	大野 昭	放送大学面接授業	2015.12.12
3	第3回 血管合併症の生理学と病態	大野 昭	放送大学面接授業	2015.12.12
4	第4回 糖尿病の多様性と治療科学	大野 昭	放送大学面接授業	2015.12.12
5	第5回 糖尿病を有する人の心理とエンバワメント	大野 昭	放送大学面接授業	2015.12.12
6	第6回 地域医療の危機と医療福祉	大野 昭	放送大学面接授業	2015.12.13
7	第7回 超高齢化社会と疾病管理の構築	大野 昭	放送大学面接授業	2015.12.13
8	第8回 総合討論:市民が選択する医療と規範	大野 昭	放送大学面接授業	2015.12.13

《腎臓内科》

(1) 英文原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	Effects of Cyclophosphamide Pulse Therapy on the Clinical and Histopathological Findings, Particularly Crescent Formation, in a Patient with Adult-onset Steroid-refractory Henoch-Schönlein Purpura Nephritis.	Tanaka Y, Nakashima Y, Mima T, Ohya M, Yamamoto S, Kobayashi S, Masumoto A, Masumoto K, <u>Yano T</u> , Moribata M, Yoshimoto W, Yamanaka S, Koreeda D, Hanba Y, Tatsuta K, <u>Sakaguchi T</u> , Negi S, Shigematsu T.	Intern Med.	54(17)	Nov-07	2015
2	Possible prevention of dialysis-requiring congestive heart failure by angiotensin-II receptor blockers in non-dialysis Japanese patients with Stage 5 chronic kidney disease.	Ikeda M, Nakao M, Hirano K, Yokoyama K, Yokoo T, Joki N, Ando R, Shinoda T, Inaguma D, Yamaka T, Komatsu Y, Koiwa F, <u>Sakaguchi T</u> , Negi S, Shigematsu T.	J Renin Angiotensin Aldosterone Syst.	16(4)	1175-84	2015

(2) 国際学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	APPROPRIATE TIMING OF ARTERIOVENOUS FISTULA CREATION	Toshifumi Sakaguchi	ERA-EDTA	ポスター	2015.5.30 演題は採択されポスター原稿も送ったが、体調不良で参加できず

(3) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	CKDeGFR10mL/min/1.73m ² から透析導入までの期間の検討—糖尿病腎症と非糖尿病性腎症の比較	坂口俊文 小林 聡 矢野卓郎 松下(北) 安紀子 吉本 航 大矢昌樹 根木茂雄 重松 隆 美馬 亨	日本内科学会	ポスター	2015.4.10

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
2	透析導入前専門医受診による血液透析導入時在院日数の短縮	坂口俊文 小林 聡 矢野卓郎 松下安紀子 根木茂雄 重松 隆 安藤亮一 池田雅人 稲熊大城 小岩文彦 小松康宏 篠田俊雄 常喜信彦	日本腎臓学会	ポスター	2015.6.6
3	一定期間の腎臓専門医受診は血液透析導入時の入院期間を短縮できる	坂口俊文 矢野卓郎 松下安紀子 小林 聡 根木茂雄 重松 隆 山家敏彦 奥田重之 安藤亮一 池田雅人 稲熊大城 小岩文彦 小松康宏 篠田俊雄 常喜信彦	日本透析医学会	口演	2015.6.26

《血液内科》

(1) 英文原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	Synchronous primary lung cancer presenting with small cell carcinoma and adenocarcinoma	Yoko Yamamoto, Ken Kodama, Hiroyuki Yamato, Masashi Takeda, Hiroyuki Takamori, <u>Takahiro Karasuno</u>	Ann Thorac Cardiovasc Surg	21	183-187	2015
2	Dramatic response of chemotherapy for cancer of unknown primary origin of sarcomatoid carcinoma producing granulocyte colony-stimulating factor	<u>Takahiro Karasuno</u> , Nobuko Nishiura, Maki Kuwayama, Hideki Hattori, Masashi Takeda, Hiroyuki Takamori, Ken Kodama, You Sasaki	International Cancer Conference Journal	5	224-228	2015
3	Quantitative polymerase chain reaction analysis with allele-specific oligonucleotide primers for individual IgH VDJ regions to evaluate tumor burden in myeloma patients	<u>Hiroshi Sata</u> , Hirohiko Shibayama, Ikuhiro Maeda, <u>Kentaro Fukushima</u> , Jiro Fujita, Sachiko Ezoe, Seiji Tadokoro, Tetsuo Maeda, Masato Mizuki, Satoru Kosugi, Masashi Nakagawa, Shuji Ueda, Masato Iida, Yukihiro Tokumine, Yasuhiko Azenisi, Hideki Mitsui, Kenji Oritani, Yuzuru Kanakura	Experimental Hematology	43	374-381	2015
4	Estrogen-inducible sFRP5 inhibits early B-lymphopoiesis in vivo, but not during pregnancy	Yokota T, Oritani K, Sudo T, Ishibashi T, Doi Y, Habuchi Y, Ichii M, <u>Fukushima K</u> , Okuzaki D, Tomizuka K, Yamawaki K, Kakitani M, Shimono A, Morii E, Kincade PW, Kanakura Y	Eur J Immunol	45(5)	1390-401	2015

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
5	Prognostic Value of FDG- PET, Based on the Revised Response Criteria, in Patients with Malignant Lymphoma : A Comparison with CT/MRI Evaluations, Based on the International Working Group/Cotswolds Meeting Criteria	Isohashi k, Tatsumi M, Kato H, <u>Fukushima K</u> , Meada T, Watabe T, Shimosegawa E, Kanakura Y, Hatazawa J.	Asia Oceania J Nucl Med Biol	3(2)	91-98	2015

(2) 和文原著、総説、著書

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	中枢神経浸潤を伴った原発性マクログロブリン血症の経過中に発症したびまん性大細胞型B細胞リンパ腫	林 友豊 佐多 弘 芥田敬吾 戸田 淳 草壁信輔 上田智朗 植田康敬 藤田二郎 田所誠司 前田哲生 西村純一 柴山浩彦 織谷健司 金倉 譲	臨床血液	56(11)	2351-56	2015

(3) 国際学会報告

番号整理	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	Excellent long-term outcome of autologous transplantation with interm dose intensive melphalan (100mg/m ² , MEL100) for multiple myeloma: a single study	<u>Kentaro Fukushima</u> , Takao Sudo, <u>Toshiharu Tamaki</u>	20th Congress of the European Hematology Association	Poster	2015.6.11-14
2	Successful afatinib treatment through nasogastric tube in a ventilated patient with non-small cell lung cancer	Shohma Yamamoto, Hiroyuki Takamori, Nobuko Nishiura, Yoko Yamamoto, Ken Kodama, <u>Takahiro Karasuno</u>	ESMO Asia 2015 Congress	Poster	2015.12.18-21

(4) 国内学会報告

番号整理	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	AL アミロイドーシスに対する MEL100mg/m ² を用いた複数回 APBSCCT	西川彰則 山下友佑 大岩健洋 小畑裕史 栗山幸大 蒸野寿紀 細井裕樹 村田祥吾 <u>福島健太郎</u> 畑中一生 花岡伸佳 <u>玉置俊治</u> 中熊秀喜 園木孝志	第40回日本骨髄腫学会学術集会(熊本)	口演	2015.5.16-17
2	Retrospective study of clinical futures and outcomes of PCP during chemotherapy	<u>Takahiro Karasuno</u> , Nobuko Nishiura, Hiroyuki Takamori	第13回臨床腫瘍学会(札幌)	ポスター	2015.7.16-18
3	メトレキサート大量療法後、血中濃度異常高値が持続した晩期再発・急性リンパ芽球性白血病	<u>福島健太郎</u> 数藤孝雄 <u>一井倫子</u> <u>玉置俊治</u>	第13回臨床腫瘍学会(札幌)	ポスター	2015.7.16-18
4	サンプリングシートによる抗がん剤の飛散状況調査	島田敏江 亘日登美 林 正美 蓬郷千里 柏山康江 佐藤浩二 南野麻衣 <u>鳥野隆博</u>	第53回癌治療学会(京都)	ポスター	2015.10.29-31
5	Development of secondary myelofibrosis with der(1; 15)(q10;q10) from polycythemia vera	Hideki Hattori, Maki Kuwayama, Hiroyuki Takamori, Nobuko Nishiura, Masaki Murakami, <u>Takahiro Karasuno</u>	第77回日本血液学会(金沢)	ポスター	2015.11.16-18

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
6	Interim analysis of NILSw trial: the safety and efficacy of NIL in pts with CML-CP showing MMR to IM	Tomohiko Kamimura, Tatsuya Kawaguchi, Junya Kuroda, Hirohisa Nakamae, Itaru Matsumura, Toshihiro Miyamoto, Jun Ishikawa, Kentaro Fukushima, Tetsuya Eto, Koichi Akashi, Yuzuru Kanakura	第77回日本血液学会(金沢)	口演	2015.11.16-18
7	原発性骨髄線維症にリステリア髄膜脳炎を合併した1例	待場優里 佐多 弘 福島健太郎 一井倫子 玉置俊治 鳥野隆博	第210回日本内科学会 近畿地方会	口演	2015. 11.28

(5) 研究会・講演会

番号整理	演 題	発 表 者	研 究 会 名	年 月 日
1	高齢者における外来化学療法マネジメント	福島健太郎	Round Table Discussion ～持続型G-CSF製剤「ジールスタ」への期待	2015.10.24
2	高齢者におけるサリドマイド単剤治療の可能性	福島健太郎	Multiple myeloma Forum in SOUTH OSAKA	2015.10.30
3	レボレード単剤投与中に足関節部骨折をきたし、観血的整復固定術を施行した難治性ITPの一例	福島健太郎	Hokusetsu ITP Forum	2015.11.20
4	「PCNSLに対するノギテカンによる地固め療法:当院における適格症例の経過報告(仮)」	福島健太郎	臨床血液セミナー	2016.3.11

(6) 学術講演・講義

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	「血液疾患の治療と支持療法」	福島健太郎	大阪大学医学部4年 血液・腫瘍内科臨床講義	2015.5.15
2	「血液疾患と新しい治療の潮流」	福島健太郎	大阪大学医学部4年 血液・腫瘍内科臨床講義	2015.5.15
3	がん薬物療法と副作用対策	鳥野隆博	泉佐野・泉南薬剤師会・第180回合同勉強会	2015.6.11
4	看護にいかす疾病論Ⅱ(急性)「血液・造血器疾患」	福島健太郎	関西医療大学 講義	2015.6.25
5	看護にいかす疾病論Ⅱ(急性)「血液・造血器疾患」	福島健太郎	関西医療大学 講義	2015.7.1
6	泉州二次医療圏の血液疾患の現状について	福島健太郎	第2回泉州骨髄移植セミナー	2015.8.5
7	地域完結型治療を目指して ー骨髄バンク認定施設・再取得を軸にー	鳥野隆博	小児がん拠点病院セミナー (大阪府立母子保健総合医療センター)	2016.2.5

(7) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
1	がん化学療法患者におけるニューモシスチス肺炎	鳥野隆博	第179回臨床集談会	2015.4.23
2	造血幹細胞移植について	佐多 弘	第179回臨床集談会	2015.4.23
3	感染症	鳥野隆博	8山 看護師勉強会	2015.5.8
4	造血幹細胞移植	佐多 弘	8山 看護師勉強会	2015.5.8
5	ここまで進んだ抗がん剤治療	鳥野隆博	市民健康講座	2015.6.20
6	血液疾患の基礎～こう診療しよう～	福島健太郎	りんくうカンファレンス	2015.9.17
7	致死的な経過をたどった血小板減少正常の後天性出血傾向の一例	佐多 弘	りんくうカンファレンス	2015.9.17

(8) 座長

番号整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	特別講演	鳥野隆博	阪南CMLセミナー	2016.3.11
2	特別講演	鳥野隆博	Multiple Myeloma/Myeloproliferative Neoplasms Seminar Multiple	2016.3.25

研究業績：診療局 神経内科

(1) 和文原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	MRA元画像で確認された椎骨動脈解離のdouble lumen sign	宗田高徳	神経内科	82(4)	446-447	2015

研究業績：診療局 循環器内科

(1) 英文原著、総説、著書

番号	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	Integrated guidance on the care of familial hypercholesterolaemia from the International FH Foundation	Gerald F. Watts, Samuel Gidding, Anthony S. Wierzbicki, Peter P. Toth, Rodrigo Alonso, W. Virgil Brown, Eric Bruckert, Joep Defesche, Khoo Kah Lin, Michael Livingston, Pedro Mata, Klaus G Parhofer, Frederick J. Raal, Raul D. Santos, Eric J. G. Sijbrands, William G. Simpson, David R. Sullivan, Andrey V. Susekov, Brian Tomlinson, Albert Wiegman, <u>Shizuya Yamashita</u> , John J. P. Kastelein	Eur J Prev Cardiol	22(7)	849-854	2015
2	Effect of extended-release niacin/laropiprant combination on plasma adiponectin and insulin resistance in Chinese patients with dyslipidaemia	Miao Hu, Ya-Ling Yang, Daisaku Masuda, <u>Shizuya Yamashita</u> , Brian Tomlinson	Dis Markers	2015	154014	2015
3	Effects of phenotypic and genotypic factors on the lipid responses to niacin in Chinese patients with dyslipidemia	Miao Hu, Ya-Ling, Chi-Fai Ng, Chui-Ping Lee, Vivian W.Y. Lee, Hiroyuki Hanada, Daisaku Masuda, <u>Shizuya Yamashita</u> , Brian Tomlinson	Medicine (Baltimore)	94(20)	e881	2015
4	Did we abandon probucol too soon?	<u>Shizuya Yamashita</u> , Daisaku Masuda, Yuji Matsuzawa	Curr Opin Lipidol	26(4)	304-316	2015
5	Expression of CD36 by olfactory receptor cells and its abundance on the epithelial surface in mice	Shinhye Lee, Ai Eguchi, Satoshi Tsuzuki, Shigenobu Matsumura, Kazuo Inoue, Toshihiko Iwanaga, Daisaku Masuda, <u>Shizuya Yamashita</u> , Tohru Fushiki	PLoS One	10(7)	e0133412	2015
6	A role of CD36 in the perception of an oxidised phospholipid species in mice	Shinhye Lee, Ai Eguchi, Kazuhiro Sakamoto, Shigenobu Matsumura, Satoshi Tsuzuki, Kazuo Inoue, Daisaku Masuda, <u>Shizuya Yamashita</u> , Tohru Fushiki	Biomed Res	36(5)	303-311	2015
7	Myocardial energy provision is preserved by increased utilization of glucose and ketone bodies in CD36 knockout mice	Kazuhiro Nakatani, Tadashi Watabe, Daisaku Masuda, Masao Imaizumi, Eku Shimosegawa, Ryota Kawase, Hajime Nakaoka, Miyako Yuasa-Kawase, Atsuhiko Naito, Tohru Ohama, Yumiko Nakagawa-Toyama, Toru Oka, Hiroshi Akazawa, Makoto Nishida, Issei Komuro, Yasushi Sakata, Jun Hatazawa, <u>Shizuya Yamashita</u>	Metabolism	64(9)	1165-1174	2015

番号	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
8	Progranulin plays crucial roles in preserving bone mass by inhibiting TNF- α -induced osteoclastogenesis and promoting osteoblastic differentiation in mice	Takaaki Noguchi, Kosuke Ebina, Makoto Hirao, Ryota Kawase, Tohru Ohama, <u>Shizuya Yamashita</u> , Tokimitsu Morimoto, Kota Koizumi, Kazuma Kitaguchi, Hozo Matsuoka, Shoichi Kaneshiro, Hideki Yoshikawa	Biochem Biophys Res Commun	465(3)	638-643	2015
9	Low HDL and high HDL syndromes	<u>Shizuya Yamashita</u> , Yuji Matsuzawa	Encyclopedia of Endocrine Diseases (Editor-in-Chief: Luciano Martini) (Elsevier) revision		doi:10.1016/B978-0-12-801238-3.04000-9	2015
10	Chapter 28. Cholesterol absorption inhibitor ezetimibe: Risk-benefits and role in treating dyslipidemias	<u>Shizuya Yamashita</u> , Daisaku Masuda, Akifumi Matsuyama	Dyslipidemias: Pathophysiology, Evaluation and Management (Springer Science and Business Media) (Editor: Abhimanyu Garg)(Humana Press)		465-481	2015
11	Clinical profile, management, and mortality in very-elderly patients hospitalized with acute decompensated heart failure: An analysis from the ATTEND registry	Masayuki Mizuno, Katsuya Kajimoto, Naoki Sato, Dai Yumino, Yuichiro Minami, Koji Murai, Ryo Munakata, Kuniya Asai, Takehiko Keida, Yasushi Sakata, Nobuhisa Hagiwara, Teruo Takano; ATTEND Investigators	Eur J Intern Med	27	80-85	2016
12	Rationale and design of the PROSPECTIVE trial: probucol trial for secondary prevention of atherosclerotic events in patients with prior coronary heart disease	<u>Shizuya Yamashita</u> , Daisaku Masuda, Tohru Ohama, Hidenori Arai, Hideaki Bujo, Tatsuo Kagimura, Toru Kita, Masunori Matsuzaki, Yasushi Saito, Masanori Fukushima, Yuji Matsuzawa; PROSPECTIVE Study Group	J Atheroscler Thromb	23(6)	746-756	2016
13	Detrimental effects of high-fat diet loading on vascular endothelial function and therapeutic efficacy of ezetimibe and statins in patients with type 2 diabetes	Akira Kurozumi, Yosuke Okada, Hiroko Mori, Takuya Kobayashi, Daisaku Masuda, <u>Shizuya Yamashita</u> , Yoshiya Tanaka	Endocr J	63(5)	431-440	2016
14	Recent advances in analytical methods on lipoprotein subclasses: calculation of particle numbers from lipid levels by gel permeation HPLC using "spherical particle model"	Mitsuyo Okazaki, <u>Shizuya Yamashita</u>	J Oleo Sci	65(4)	265-282	2016
15	Effects of K-877, a novel selective PPAR α modulator (SPPARM α), in dyslipidaemic patients: A randomized, double blind, active- and placebo-controlled, phase 2 trial	Shun Ishibashi, <u>Shizuya Yamashita</u> , Hidenori Arai, Eiichi Araki, Koutaro Yokote, Hideki Suganami, Jean-Charles Fruchart, Tatsuhiko Kodama; K-877-04 Study Group	Atherosclerosis	249	36-43	2016
16	Molecular mechanisms of hyperalphalipoproteinemia	<u>Shizuya Yamashita</u> , Daisaku Masuda, Tohru Ohama, Masahiro Koseki	The HDL Handbook (Elsevier)	in press		2016

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
17	Methods for studying the function of progranulin in atherosclerosis using both knockout mice models and in vitro studies	Tohru Ohama, Ryota Kawase, Yasushi Sakata, <u>Shizuya Yamashita</u>	Methods in Molecular Biology (Springer)(Editors: Andrew Bateman, Hugh Bennett, Siu Tim Cheung)	in press		2016
18	Re-evaluation of cholesteryl ester transfer protein (CETP) function in atherosclerosis based upon genetics and pharmacological manipulation	<u>Shizuya Yamashita</u> , Yuji Matsuzawa	Curr Opin Lipido	in press		2016

(2) 和文原著、総説、著書

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	特集「ACC/AHAガイドラインを読み解く」(企画:荒井秀典先生) 2. ACC/AHAガイドラインに対する日本動脈硬化学会の立場	山下静也	動脈硬化予防Prevention of Arteriosclerosis	13(4)	10-15	2015
2	特集:動脈硬化予防の新たなマーカー 4. アディポネクチン	山下静也	動脈硬化予防Prevention of Arteriosclerosis	14(1)	28-39	2015
3	第4章 管理・治療 CETP阻害薬の現状	山下静也	最新医学 別冊 診断と治療のABC(最新医学社)	101 高LDL-C血症・低HDL-C血症	212-224	2015
4	第22章 脂質異常症用薬	山下静也	治療薬 Up-To-Date 2015 (監修:矢崎義雄、編集:松澤佑次、永井良三、千葉勉、伊藤貞嘉、松原和夫)(メデイカルレビュー社)		300-312	2015
5	予防医学的観点からみた脂質異常症の診断基準値および管理目標値	山下静也	総合健診	42(2)	1-6	2015
6	特集:LDL/HDLコレステロールを標的とした動脈硬化症の新しい治療ストラテジー 2. 新規VLDL/LDL-C低下薬	山下静也	血管医学	69(1)	19-28	2015
7	特集:動脈硬化性疾患予防ガイドラインを見直す 治す12 CETP阻害薬とプロブコールの位置づけ	山下静也	Heart View	19(6)	638-647	2015
8	CQ1 LDL-Cの治療目標は治療目標値の絶対値か、低下率か?	山下静也	CORE Journal循環器	第5号 2015春夏号	8-13	2015
9	脳心血管病予防に関する包括的リスク管理チャートについて	脳心血管病予防に関する包括的リスク管理合同会議 (寺本民生 横出正之 磯 博康 北村明彦 塩見紘樹 木村 剛 松本昌泰 飯田真美 佐々木 淳 井上 茂 永富良一 庄司哲雄 荒井秀典 桑木宏美 曾根博仁 <u>山下静也</u> 宮崎 滋)	日本内科学会雑誌	104(4)	824-860	2015

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
10	脳心血管病予防に関する包括的リスク管理チャート	脳心血管病予防に関する包括的リスク管理合同会議 (寺本民生 横出正之 磯 博康 北村明彦 塩見紘樹 木村 剛 松本昌泰 飯田真美 佐々木 淳 井上 茂 永富良一 庄司哲雄 荒井秀典 楽木宏美 曾根博仁 山下静也 宮崎 滋)	日本内科学会雑誌付録		1-4	2015
11	糖尿病患者に合併するレムナント蓄積に対するシタグリプチン投与の有効性～アポ蛋白B-48濃度の改善効果～	山下静也	厚生労働科学研究費補助金 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業 non-HDL等血中脂質評価指針及び脂質標準化システムの構築と基盤整備に関する研究	2014年度総括・分担研究報告書	11-18	2015
12	2. 代謝・内分泌検査/B.脂質代謝 総コレステロール	山下静也	臨床検査ガイド2015年改訂版 これだけは必要な検査のすすめかた・データのよみかた(特任編集委員:三橋知明、Medical Practice編集委員会:和田 攻、矢崎義雄、小池和彦、小室一成)(文光堂)		296-299	2015
13	第3章 リポ蛋白の構成・修飾因子 序	山下静也	疾患モデルの作製と利用ー脂質代謝異常と関連疾患上巻(編集委員:尾池雄一、佐々木雄彦、村上 誠、矢作直也)(株式会社 エル・アイ・シー)		347-355	2015
14	第3章 リポ蛋白の構成・修飾因子 第7節 コレステロールエステル転送タンパク(CETP)、リン脂質転送タンパク(PLTP)	山下静也	疾患モデルの作製と利用ー脂質代謝異常と関連疾患上巻(編集委員:尾池雄一、佐々木雄彦、村上 誠、矢作直也)(株式会社 エル・アイ・シー)		416-428	2015
15	第2章 第17節 ATGL	山下静也	疾患モデルの作製と利用ー脂質代謝異常と関連疾患上巻(編集委員:尾池雄一、佐々木雄彦、村上 誠、矢作直也)(株式会社 エル・アイ・シー)		290-298	2015
16	第4章 慢性炎症関連因子 第6節 CD36	山下静也	疾患モデルの作製と利用ー脂質代謝異常と関連疾患下巻(編集委員:尾池雄一、佐々木雄彦、村上 誠、矢作直也)(株式会社 エル・アイ・シー)		68-78	2015
17	第15回動脈硬化学会教育フォーラムを開催して	山下静也	日本動脈硬化学会News and Scope 2015	No.2	16-17	2015
18	原発性脂質異常症:疾患概念の整理と最近の進歩特集にあたって	山下静也	Pharma Medica	33(8)	7-8	2015
19	スタチン投与後のレジデュアル・リスク TGとレムナントリポ蛋白は残余リスクになりうるか?	山下静也	呼吸と循環	63(9)	823-832	2015
20	第4章 管理・治療 CETP阻害薬の現状	山下静也	最新医学 別冊 診断と治療のABC (最新医学社)	101高LDL-C血症・低HDL-C血症	212-224	2015

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
21	特集 循環器疾患の予後改善を目指して 動脈硬化に及ぼすHDLの多面的機能と食後高脂血症の最新知見	山下静也	循環plus	15(10)	2-6	2015
22	【Discussion 1】改めて考えるトリグリセライドと動脈硬化の関係	森下竜一 平野 勉 吉田雅幸 <u>山下静也</u> 室原豊明 寺内康夫 倉林正彦	Cardio-Lipidology	9(1)	17-25	2015
23	【Discussion 2】わが国の脂質管理のこれからの課題ーACC/AHA脂質管理ガイドラインを入口として考えるー	池脇克則 吉田雅幸 森下竜一 荒井秀典 寺内康夫 <u>山下静也</u> 倉林正彦	Cardio-Lipidology	9(1)	33-41	2015
24	特集:脂質コントロールの重要性を探る<巻頭言>	山下静也	メディカル・ビューポイント	36(10) 特集企画 (2015年10月 10日発行)	1	2015
25	特集 家族性高コレステロール血症(FH)の新しい治療 III. FH治療の位置づけ 2. プロブコール	山下静也	The Lipid	26(4)	357-369	2015
26	第47回日本動脈硬化学会総会・学術集会 ランチョンセミナー8 動脈硬化性疾患のResidual Risk低減を目指して	及川眞一 <u>山下静也</u>	第47回日本動脈硬化学会総会・学術集会 ランチョンセミナー8 パンフレット		1-4	2015
27	特集 スタチン投与後のレジデュアル・リスク TGとレムナントリポ蛋白は残余リスクになりうるか?	山下静也	呼吸と循環	63(9)	823-832	2015
28	ご挨拶	山下静也	NICE SMILE	2015秋 Vol.63	1	2015
29	Commentary Antisense Inhibition of Apolipoprotein C-III in Patients with Hypertriglyceridemia Daniel Gaudet, et al: N Engl J Med 373:438-447, 2015 アポ蛋白C3のアンチセンス療法による難治性高トリグリセライド血症治療の新たな可能性	山下静也	Care Net		https://www.carenet.com/news/learn/journal/40547	2015
30	IV.特殊な冠動脈病変に対するPCI治療の考え方 ②左冠動脈主幹部入口部病変	武田吉弘	実践に活かす! 症例で覚えるPCI術者に必要な治療Tips			2015
31	特集:脂質管理のいまを整理する 3. LDLコレステロールに関するエビデンスとその読み方ーthe lower, the betterなのか?	山下静也	CardioVascular Contemporary	4(3)	in press	2016
32	第22章 脂質異常症用薬	山下静也	治療薬 Up-To-Date 2016 (監修:矢崎義雄、編集:松澤佑次、永井良三、伊藤貞嘉、松原和夫)(メディカルレビュー社)		302-314	2016
33	1. SPECIAL REVIEW Lp(a)アンチセンス	岡田健志 <u>山下静也</u>	TOTAL VASCULAR MANAGEMENT	1	16-21	2016
34	座談会 アテローム血栓症と動脈硬化性疾患ーACS発症リスク因子のパラダイムシフトー	<u>山下静也</u> Peter Libby 横手幸太郎 吉田雅幸 大内乗有 筒井裕之 佐田政隆	TOTAL VASCULAR MANAGEMENT	1	8-15	2016
35	見えないところで進行する動脈硬化の怖さを知って	山下静也	リビング北摂中央	2016年4月 23日	13	2016

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
36	脂質異常症の臨床 セミナー 知っておくべき病態生理と診療 の進め方ー典型例から学ぶー総 コレステロール・TG高値例	山下静也	Medical Practice	33(4)	563-569	2016
37	第21回日本未病システム学会 学術集会 ■シンポジウム6「食 品機能と生活習慣病予防」 柑 橘由来ポリフェノール「糖転移ヘ スペリジン」の機能性食品素材と しての可能性	山下静也 三鼓仁志	未病システム学会雑誌	22(1)	15-19	2016
38	I 外来のガイドライン診療ー診 断、管理・治療ー内分泌・代謝性 疾患 脂質異常症	山下静也	ガイドライン外来診療2016 (日経メディカル開発社)		173-181	2016
39	中性脂肪(TG)と動脈硬化 ～レ ムナントリポ蛋白, small dense LDL～	増田大作 山下静也	TarGet		15-19	2016
40	糖尿病患者における糖負荷後カ イロミクロンの分泌亢進および耐 糖能異常患者における空腹時カ イロミクロンレムナントの増加の検 討	山下静也	厚生労働科学研究費補助 金(non-HDL等血中脂質評 価指針及び脂質標準化シス テムの構築と基盤整備に関 する研究)	2015年度分 担研究報告 書	57-67	2016
41	なるほど、なっとく 高コレステ ロール血症	山下静也(監修)	患者用パンフレット(作製:ア ストラゼネカ株式会社、シオ ノギ製薬)			2016
42	コレステロールの高い方へ 家 族性高コレステロール血症(FH) のおはなし	山下静也(監修)	患者用パンフレット(作製:ア ステラス製薬、Astellas Amgen BioPharma)			2016
43	ご挨拶 新年度を迎えるにあつ て	山下静也	NICE SMILE	2016年春号	1	2016
44	第2章 脂質異常症の病態と治 療法 【A】 原発性高脂血症	山下静也	脂質異常症診療と動脈硬化 (編著:寺本民生)(金原出 版株式会社)	in press		2016
45	IV.心血管自己の抑制を目指し た脂質異常症治療 11. その他 の脂質異常症治療薬-プロブコ ール、ニコチン酸、陰イオン交換 樹脂-	山下静也	そうだったんだ! 脂質異常 症-メカニズムがわかれば治 療が変わる-(編集:伊藤 浩)(文光堂)	in press		2016
46	IV.心血管自己の抑制を目指し た脂質異常症治療 6. フィブラート Topic: selective PPAR α modulatorはどのような薬?	山下静也	そうだったんだ! 脂質異常 症-メカニズムがわかれば治 療が変わる-(編集:伊藤 浩)(文光堂)	in press		2016
47	III.脂質異常症を診断し、重症度 を評価する 5. 血管機能評価 (FMD、CWV、CAVI)をどう解釈 する? One Point Advice:脂肪 負荷試験とその解釈	山下静也	そうだったんだ! 脂質異常 症-メカニズムがわかれば治 療が変わる-(編集:伊藤 浩)(文光堂)	in press		2016
48	II.脂質異常症の病態に迫る 2. インスリン抵抗性と食後(非空 腹時)高脂血症の深い関係	山下静也	そうだったんだ! 脂質異常 症-メカニズムがわかれば治 療が変わる-(編集:伊藤 浩)(文光堂)	in press		2016
49	EPAとHDL機能	山下静也	Mochida DVD			2016
50	第15回動脈硬化教育フォーラム を主催して	山下静也	第二内科同窓会ニュース	in press		2016
51	The Satellite Symposium of the ISA 2015 in Tokyoを主催して	山下静也	第二内科同窓会ニュース	in press		2016
52	シリーズ「21世紀の地域医療 ー知っておきたい病気のあれこ れ」 意外と多い家族性高コレ ステロール血症	山下静也	ニュースせんなん	in press		2016

(3) 国際学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	Effect of K-877, a potent and selective PPAR α modulator (SPPARMa), on cholesterol efflux from macrophages in dyslipidemic patients	<u>Shizuya Yamashita</u> , Shun Ishibashi, Hidenori Arai, Eiichi Araki, Koutaro Yokote, Hideki Suganami, Tatsuhiko Kodama	European Society of Cardiology Congress 2015 (ESC2015)(London,UK)	Moderated Poster	2015.9.1
2	Roles of a novel HDL-associated protein, progranulin, in atherosclerosis	<u>Shizuya Yamashita</u> , Ryota Kawase, Tohru Ohama	The 66th Forum of Guangdong Provincial Association for Science and Technology: China-Japan International Conference on Atherosclerosis 2015; New Therapeutics for Atherosclerotic Diseases (Guangzhou, China)	Oral	2015.9.20
3	FH in Japan	Shizuya Yamashita	FH Global Summit 2015: Familial Hypercholesterolemia at the Crossroads (Pasadena, LA, USA)	Oral	2015.9.25
4	Efficacy and safety of K-877, a potent and selective PPAR α modulator (SPPARMa), in combination with statins in Japanese patients with dyslipidemia	Hidenori Arai, Shun Ishibashi, <u>Shizuya Yamashita</u> , Eiichi Araki, Koutaro Yokote, Hideki Suganami, Tatsuhiko Kodama	American Heart Association (AHA) 2015 Scientific Sessions (Orlando, USA)	Poster	2015.11.7-11
5	Novel approach to residual risk, K-877, a potent and selective PPAR α modulator (SPPARMa), added-on to pitavastatin in Japanese patients with dyslipidemia	Koutaro Yokote, Shun Ishibashi, <u>Shizuya Yamashita</u> , Hidenori Arai, Eiichi Araki, Hideki Suganami, Tatsuhiko Kodama	American Heart Association (AHA) 2015 Scientific Sessions (Orlando, USA)	Poster	2015.11.7-11
6	A phase I clinical trial evaluating the safety of allogeneic adipose tissue-derived multilineage progenitor cells-transplantation therapy in homozygous familial hypercholesterolemia patients	Masahiro Koseki, Ayami Saga, Sachiko Ezoe, Takeshi Okada, Ryota Kawase, Kouichi Tomita, Keigo Osuga, Yasushi Sakata, <u>Shizuya Yamashita</u>	American Heart Association (AHA) 2015 Scientific Sessions (Orlando, USA)	Poster	2015.11.9
7	What do we want to achieve in the next year with respect to FH care in short, medium term. SWOT analysis - Strengths, Weakness, Opportunities and Threats	Shizuya Yamashita	EAS-FHSC National Lead Investigator & FH Patient Organization Representatives Meeting (Gothenburg, Sweden)	Oral	2015.11.30
8	What we expect from the registry: such as: "what data do people want to explore for general interest, essential data to help support change nationallt, for guidelines; help prioritise FH clinical sevice; changes to clinical practice; awareness of FH; further information patients' response to therapy and side effects."	Shizuya Yamashita	EAS-FHSC National Lead Investigator & FH Patient Organization Representatives meeting (Gothenburg, Sweden)	Oral	2015.11.30
9	Roles of an HDL-associated anti-inflammatory protein, progranulin, in the pathogenesis of atherosclerosis	Shizuya Yamashita	JCR (Joint Meeting of Coronary Revascularization)	Oral	2015.12.11

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
10	Development of cell-transplantation therapy in severe familial hypercholesterolemia undergoing LDL apheresis therapy	Masahiro Koseki, Ayami Saga, Takeshi Okada, Ryota Kawase, Kouichi Tomita, Kengo Osuga, Sachiko Ezoe, Makoto Nishida, Yasushi Sakata, Shizuya Yamashita	Deuel Conference on Lipids 2016 (Napa, California, USA)	Oral	2016.3.1-4

(4) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	Impact of Cerebral Microbleeds on Late Symptomatic Stroke in Patients Starting Dual-Antiplatelet Therapy after DES Implantation	Yoshihiro Takeda, Taku Kasahara, Syun Morishita, Keita Fujiwara, Soushi Oono, Yuichi Ozaki, Ryouyuke Muraki, Tomoki Dohue, Yoshiyuki Nagai	The 79th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society	Poster	2015.4.24
2	Application of Crusade-Parallel Technique in the Retrograde Manner	Yoshihiro Takeda	The 16th Seminar of Angioplasty of Chronic Total Occlusions	Poster	2015.6.19
3	CTO Live Case Transmission1(Commentator)	Yoshihiro Takeda	The 16th Seminar of Angioplasty of Chronic Total Occlusions	Oral	2015.6.19
4	How to read IVUS image in IVUS guided wiring in CTO PCI	Yoshihiro Takeda	The 16th Seminar of Angioplasty of Chronic Total Occlusions	Oral	2015.6.20
5	第119回日本循環器学会近畿地方会	笠原 卓 武田吉弘 藤原敬太 尾崎雄一 村木良輔 堂上友紀	第119回日本循環器学会近畿地方会	口演	2015.6.20
6	感染性心内膜炎が疑われる僧帽弁前尖異常構造物を認めた1症例	森下 瞬 武田吉弘 藤原敬太 尾崎雄一 村木良輔 堂上友紀	第119回日本循環器学会近畿地方会	口演	2015.6.20
7	血栓吸引カテーテルを用いてのEVTに難渋した急性腎梗塞の1症例	森下 瞬 武田吉弘 笠原 卓 藤原敬太 河合 努 大野壮史 尾崎雄一 村木良輔 堂上友紀 永井義幸	第25回日本心血管インターベンション治療学会近畿地方会	口演	2015.10.3
8	急性冠症候群に対して薬剤溶出性バルーン(DCB)を使用し、慢性期に内腔拡大を呈した2例	河合 努 武田吉弘 堂上友紀 村木良輔 尾崎雄一 藤原敬太 森下 瞬 笠原 卓 永井義幸	第25回日本心血管インターベンション治療学会近畿地方会	口演	2015.10.3
9	動脈硬化惹起的なカイロミクロンレムナント蓄積に着目した動脈硬化性疾患発症リスク状態の量的・質的評価	増田大作 小林卓哉 大久保 学 花田浩之 西田 誠 日高 洋 坂田泰史 山下静也	第22回日本未病システム学会学術総会	ポスター	2015.10.12
10	Troublebuster in CTO (共催プログラム演者)	Yoshihiro Takeda	Complex Cardiovascular Therapeutics 2015	口演	2015.10.30
11	PCI Live Case Transmission (Live Operator)	Yoshihiro Takeda	Complex Cardiovascular Therapeutics 2015	口演	2015.10.31
12	急性心筋梗塞に合併した早期再分極症候群の1例	藤原敬太 武田吉弘 笠原 卓 森下 瞬 河合 努 村木良輔 尾崎雄一 堂上友紀 永井義幸 山下静也	第120回日本循環器学会近畿地方会	口演	2015.11.28

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
13	左主幹部近傍にエントリー(内膜破綻)を有し、主幹部梗塞を併発した急性大動脈解離の1例	笠原 卓 武田吉弘 森下 瞬 河合 努 村木良輔 尾崎雄一 堂上友紀 永井義幸 山下静也	第120回日本循環器学会近畿地方会	口演	2015.11.28
14	新規脂質吸収制御性遺伝子を標的とした、抗非アルコール性脂肪性肝炎核酸医薬の開発を目指して	小関正博 西田 誠 嵯峨礼美 坂田泰史 山下静也	日本核酸医薬学会第1回年会	ポスター	2015.11.30
15	高度石灰化病変においてUltimaster stent留置時に経験した、短縮・変形症例	村木良輔 武田吉弘 笠原 卓 森下 瞬 河合 努 藤原敬太 尾崎雄一 堂上友紀 永井義幸 山下静也	第26回日本心血管インターベンション治療学会近畿地方会	口演	2016.2.13
16	特発性上腸間膜動脈解離の2例	藤原敬太 武田吉弘 笠原 卓 森下 瞬 河合 努 尾崎雄一 村木良輔 堂上友紀 永井義幸 山下静也	第26回日本心血管インターベンション治療学会近畿地方会	口演	2016.2.13
17	重症 家族性高コレステロール血症に対する新しい細胞移植治療法の開発と臨床応用	小関正博 嵯峨礼美 岡田健志 川瀬良太 小林卓哉 朝治真澄 富田興一 大須賀慶悟 川本弘一 江副幸子 西田 誠 坂田泰史 山下静也	第15回日本再生医療学会	口演	2016.3.17-19
18	Phase I clinical trial of transplantation therapy with allogeneic adipose tissue-derived multi-lineage progenitor cells in severe familial hypercholesterolemia patients	Masahiro Koseki, Ayami Saga, Sachiko Ezo, Takeshi Okada, Ryota Kawase, Kazuhiro Nakatani, Kouichi Tomita, Keigo Osuga, Makoto Nishida, Yasushi Sakata, Shizuya Yamashita	第80回日本循環器学会学術集会	Oral	2016.3.18-20
19	High-performance gel permeation chromatography analysis demonstrates atherogenic properties of lipoproteins in patients with cholesteryl ester transfer protein deficiency	Takeshi Okada, Tohru Ohama, Mitsuyo Okazaki, Hibiki Matsuda, Masami Sairyo, Yinghong Zhu, Ryota Kawase, Daisaku Masuda, Masahiro Koseki, Makoto Nishida, Yasushi Sakata, Shizuya Yamashita	第80回日本循環器学会学術集会	Poster	2016.3.18-20
20	Enhanced age-related cardiac hypertrophy in progranulin-deficient mice	Yinghong Zhu, Tohru Ohama, Hibiki Matsuda, Masami Sairyo, Takeshi Okada, Ryota Kawase, Daisaku Masuda, Masahiro Koseki, Makoto Nishida, Yasushi Sakata, Shizuya Yamashita	第80回日本循環器学会学術集会	Poster	2016.3.18-20

番号	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
21	Macrophage-derived progranulin protects from atherosclerosis	Ryota Kawase, Tohru Ohama, Hibiki Matsuda, Masami Sairyo, Yinghong Zhu, Takeshi Okada, Daisaku Masuda, Masahiro Koseki, Makoto Nishida, Yasushi Sakata, <u>Shizuya Yamashita</u>	第80回日本循環器学会学術集会	Poster	2016.3.18-20
22	Selective isolation and proteomic analysis of intestine-derived chylomicrons and their remnants in human serum	Daisaku Masuda, Masami Sairyo, Takeshi Okada, Ryota Kawase, Kazuhiro Nakatani, Tohru Ohama, Masahiro Koseki, Makoto Nishida, Yasushi Sakata, <u>Shizuya Yamashita</u>	第80回日本循環器学会学術集会	Poster	2016.3.18-20
23	Effect on cholesterol efflux from macrophages with K-877, a selective PPAR modulator (SPPARMa), a randomized clinical trial in dyslipidemic patients	<u>Shizuya Yamashita</u> , Hidenori Arai, Koutaro Yokote, Hideki Suganami, Shun Ishibashi	第80回日本循環器学会学術集会	Oral	2016.3.18
24	Safety and efficacy of K-877, a selective PPAR α modulator (SPPARM α), in combination with stable statin treatment in Japanese dyslipidemic patients	Hidenori Arai, <u>Shizuya Yamashita</u> , Koutaro Yokote, Hideki Suganami, Shun Ishibashi	第80回日本循環器学会学術集会	Oral	2016.3.18
25	Novel treatment to residual risk, K-877, a selective PPAR α modulator (SPPARM α), added-on to stable pitavastatin treatment in Japanese dyslipidemic patients	Koutaro Yokote, <u>Shizuya Yamashita</u> , Hidenori Arai, Hideki Suganami, Shun Ishibashi	第80回日本循環器学会学術集会	Oral	2016.3.18-20
26	Efficacy and safety of one year of evolocumab in patients at high cardiovascular risk on statin therapy: a pooled analysis	Atsushi Hirayama, Arihiro Kiyosue, Masayuki Yoshida, <u>Shizuya Yamashita</u> , Hyo Inomata, Christopher Kurtz, Narimon Honarpour, Scott M Wasserman, Tamio Teramoto	第80回日本循環器学会学術集会 Late Breaking Clinical Trials/Cohort Studies VI (LBCT/LBC06) Metabolism, Examination, Pulmonary Hypertension	Oral	2016.3.18-20
27	Catheter-directed mechanical thrombectomy in treatment of acute pulmonary embolism	Shun Morishita, Yoshihiro Takeda, Taku Kasahara, Keita Fujiwara, Tsutomu Kawai, Sousi Oono, Yuuichi Ozaki, Ryosuke Muraki, Tomoki Dohue, Yoshiyuki Nagai, Shizuya Yamashita	The 80th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society	Poster	2016.3.19

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
28	Reaction to predilation could predict the efficacy in treatment of de-novo coronary lesion with drug-coated balloon	Tsutomu Kawai, Yoshiyuki Nagai, Yoshihiro Takeda, Tomoki Dohue, Ryosuke Muraki, Yuuichi Ozaki, Keita Fujiwara, Shun Morishita, Taku Kasahara, Shizuya Yamashita	The 80th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society	Poster	2016.3.19
29	Deflection index as well as tip-load stiffness is an important characteristic of guidewires for crossing chronic total occlusions	Yoshihiro Takeda	The 80th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society	Poster	2016.3.20
30	Local paclitaxel by drug-coating balloon angioplasty induces late lumen enlargement in native coronary arteries: a serial volumetric IB-IVUS study	Yoshihiro Takeda, Tsutomu Kawai, Taku Kasahara, Shun Morishita, Keita Fujiwara, Sousi Oono, Yuuichi Ozaki, Ryosuke Muraki, Tomoki Dohue, Yoshiyuki Nagai, Shizuya Yamashita	The 80th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society	Oral	2016.3.20

(5) 研究会・講演会

番号整理	演 題	発 表 者	研 究 会 名	年 月 日
1	Guide cath-ReengageによるLMT入口部ステントの変形を来すもDummy-Balloon TechniqueでBail Outし得た一例	森下 瞬 武田吉弘 笠原 卓 藤原敬太 尾崎雄一 村木良輔 堂上友紀	37th Meeting of Gruentzig Club症例検討会 第37回大阪冠インターベンション研究会	2015.4.2
2	講師・コメンテーター	武田吉弘	第17回Complex PCI Circle 勉強会	2015.4.4
3	Peripheral Theme Live Theater(コメンテーター)	武田吉弘	近畿心血管ジョイントライブ KCJL2015	2015.4.17
4	Retrograde CTO-PCI:この10年の進化	武田吉弘	近畿心血管ジョイントライブ KCJL2015	2015.4.17
5	デバイス・デリバリーによるLMT入口部ステントの変形を来すもDummy-Balloon Technique でBail Outし得た一例	森下 瞬 武田吉弘 藤原敬太 尾崎雄一 村木良輔 堂上友紀	近畿心血管ジョイントライブ KCJL2015	2015.4.17
6	Coronary Theme Live Theater(オペレーター)	武田吉弘	近畿心血管ジョイントライブ KCJL2015	2015.4.18
7	線維筋異形成を合併した、右冠動脈解離の1例	笠原 卓 武田吉弘 藤原敬太 尾崎雄一 村木良輔 堂上友紀	近畿心血管ジョイントライブ KCJL2015	2015.4.18
8	DEBの現状と可能性	武田吉弘	第72回南河内PCI症例カンファレンス	2015.5.19
9	DCAライブデモンストレーション(コメンテーター)	武田吉弘	第5回豊橋ライブデモンストレーションコース	2015.5.29
10	慢性完全閉塞病変コース ライブデモンストレーション(コメンテーター)	武田吉弘	第5回豊橋ライブデモンストレーションコース	2015.5.30
11	FMD(繊維筋性異形成)を合併した冠動脈解離の1例	笠原 卓 武田吉弘 尾崎雄一 森下瞬 河合 努 藤原敬太 大野壮史 村木良輔 堂上友紀 永井義幸	第2回和歌山心血管イメージングセミナー	2015.6.25
12	Key of CTO Antegrade Wiring	武田吉弘	Bay area Complex PCI & Imaging Conference 2015	2015.7.3
13	左回旋枝入口部病変: Rotablation 1.5mmデバルク後に左主幹部に穿孔をきたした一例	尾崎雄一	Bay area Complex PCI & Imaging Conference 2015	2015.7.3

番号整理	演 題	発 表 者	研 究 会 名	年 月 日
14	HDLをターゲットとした薬物治療の最前線	山下静也	第2回本道循環器カンファレンス「～動脈硬化に挑む～」	2015.8.8
15	FDI診断とアキレス腱測定の意義	山下静也	EXPLORE-J Investigator Meeting	2015.8.9
16	特別講演 家族性高コレステロール血症の診断と治療の最前線	山下静也	リビートル錠発売15周年記念講演会	2015.8.26
17	特別講演 動脈硬化惹起性食後高脂血症の病態と治療	山下静也	リビッドフォーラム in 吉祥寺	2015.9.3
18	CTO PCIの治療戦略-イメージングモダリティの活用- Part2 術中の画像/イメージングが有用であった症例 -どれだけ柔軟に対応させられたか?-(プレゼンター)	武田吉弘	Sapporo Live Demonstration Course 2015 S-CTOケースカンファレンス	2015.9.5
19	動脈硬化惹起性高レムナント血症の評価法とその治療指針	山下静也	学術講演会 脂質異常症の新しいパラダイム	2015.9.8
20	粥状動脈硬化の残余リスクとしての高レムナント血症の診断法・臨床的意義と治療指針	山下静也	第7回Beyond LDL-cholesterol loweringの考え方	2015.9.11
21	動脈硬化惹起性の食後高脂血症の成因とその治療	山下静也	豊中市医師会平成27年度第5回学術講演会	2015.9.12
22	動脈硬化惹起性の食後高脂血症の成因とその治療	山下静也	北摂循環器セミナー	2015.10.8
23	冠動脈疾患を見据えた糖尿病合併脂質異常症の病態と治療戦略	山下静也	第2回堺トータル血管ケア研究会	2015.10.10
24	動脈硬化惹起性の食後高脂血症の成因とその治療	山下静也	人吉球磨脂質異常症講演会	2015.10.14
25	治療に難渋した特発性上腸間膜動脈解離の2例	西村俊輝 武田吉弘 笠原 卓 森下 瞬 河合 努 藤原敬太 村木良輔 尾崎雄一 堂上友紀 永井義幸 山下静也	第21回中之島循環器・代謝フォーラム	2015.10.17
26	全身性の臃肥厚のみを呈し、他の随伴症状を合併しない脳臃黄色腫の1例	松田 響 増田大作 岡田健志 西良雅己 川瀬良太 大濱 透 小関正博 西田 誠 坂田泰史 山下静也	第21回中之島循環器・代謝フォーラム	2015.10.17
27	糖尿病患者における脂質異常症の成因と治療	山下静也	食後高血糖フォーラム in 北九州	2015.11.18
28	糖尿病患者における脂質異常症の成因と治療	山下静也	糖尿病フォーラム2015 in 岩手	2015.11.20
29	動脈硬化惹起性の食後高脂血症の成因とその治療	山下静也	Dyslipidemia Management Seminar	2015.11.26
30	善玉HDLと悪玉HDL、何が問題か?	山下静也	第7回泉州地域医療フォーラム	2015.11.28
31	家族性高コレステロール血症の診断と治療の最前線	山下静也	第43回奈良循環器・腎臓病診療連携の集い	2015.12.5
32	糖尿病に合併する脂質異常症の成因と治療	山下静也	泉佐野・泉南薬剤師会185回合同勉強会	2016.1.14
33	動脈硬化惹起性の食後高脂血症の成因とその治療	山下静也	学術講演会～心血管イベント予防のための脂質管理を再考する～	2016.2.25
34	コレステロール吸収阻害療法の多面的効果に関する最新のエビデンス	山下静也	第8回脂質異常症マネジメントフォーラム	2016.3.5
35	糖尿病に合併する脂質異常症の病態と治療指針	山下静也	第12回泉佐野・泉南糖尿病病診療連携の会	2016.3.12

(6) 学術講演・講義

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	LDLコレステロールの本当の怖さ リスクと知ることの重要性	山下静也	高LDLコレステロール血症に関するメディアセミナー	2016.3.10

(7) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
1	前立腺癌ホルモン療法開始後に胸痛を訴えた72歳、男性	笠原 卓	りんくうカンファレンス	2015.5.21
2	慢性心不全治療の最近のトピックと当院での取り組みについてーりんくう心不全データベースを中心にー	武田吉弘 藤原敬太	りんくうカンファレンス	2015.5.21
3	心臓再同期療法について	森下 瞬	第190回臨床集談会	2016.3.24

(8) 座長

番号整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	学生・初期研修医セッション6(大動脈疾患)	永井義幸	第119回日本循環器学会近畿地方会	2015.6.20
2	Live Demonstration III,「PCI合併症」 ～冠動脈穿孔にご用心～	武田吉弘	Bay area Complex PCI & Imaging Conference 2015	2015.7.3
3	Coronary CTO・Complex②	武田吉弘	第25回日本心血管インターベンション治療学会近畿地方会	2015.10.3
4	Session 1 Current Research Lecture 1 糖尿病・CKDにおけるコレステロール合成・吸収の変化 演者 庄司哲雄(大阪市立大学大学院医学系研究科老年血管病態学) Lecture 2 肥満者に対するエゼチミブの効果の検討 演者 足達 寿(久留米大学医学部地域医療連携講座)	山下静也	Osaka Cardio-Metabolism Summit	2015.10.4
5	Lipid Lowering Therapy 積極的脂質低下療法の意義と最新知見 Discussion パネリスト: 足達 寿、庄司哲雄、辻田賢一、寺本民生、的場哲哉	児玉和久 平山篤志 山下静也	Osaka Cardio-Metabolism Summit	2015.10.4
6	Session II: Basic and Translational Research - Joint Session with ACIRI/MIS-Korea	Do Sun Lim, Shizuya Yamashita	JCR (Joint Meeting of Coronary Revascularization)	2015.12.12
7	コントロールシーI: 脂質異常症のACC/AHAガイドラインをどう活かすか? 演者1 "Fire and forget" could be a practical lipid lowering therapy for the patients with high risk of cardiovascular disease 高山忠輝(日本大学医学部内科学系 循環器内科学分野) 演者2 Treat to target strategy in lipid management for prevention of atherosclerotic vascular diseases 横手幸太郎(千葉大学大学院医学研究院細胞治療内科学講座)	山下静也 石原正治	第80回日本循環器学会学術集会	2016.3.18
8	ランチョンセミナー21 脂質異常症治療におけるω3系不飽和脂肪酸～心血管イベント抑制を目指して～ 演者 天野哲也(愛知医科大学循環器内科)	山下静也	第80回日本循環器学会学術集会	2016.3.18
9	講演1 身近にひそむ家族性高コレステロール血症 演者 斯波真理子(国立循環器病研究センター病態代謝部)	山下静也	Novel Therapy Forum for Hyperlipidemia	2016.3.24
10	第二部 デイスカッション 心血管イベントハイリスク患者の治療アプローチ テーマ1: 心血管イベントハイリスクの患者像 テーマ2: 抗PCSK9抗体によるLDL-C低下の有効性と安全性	阿古潤哉 荒井秀典 川尻剛照 斯波真理子 寺本民生 中村正人 平山篤志 宮内克己 室原豊明 山岸正和 山下静也 横手幸太郎	Hyperlipidemia Workshop	2016.3.26

研究業績：診療局 小児科

(1) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	肺切除術に至った原発性肺膿瘍の1例	竹村 亮 山本真也 今西洋介 山本昌周 和田芳郎 住田 裕	第118回日本小児科学会	ポスター	2015.4.17

番号 整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
2	環境湿度と晩期循環不全の検討	和田芳郎 今西洋介 左 信哲 寺村崇哉 山本昌周 住田 裕	第60回日本新生児成育医療学会	口演	2015.10.24

(2) 研究会・講演会

番号 整理	演 題	発 表 者	研 究 会 名	年 月 日
1	哺乳不良・黄疸主訴に来院したVAHS・心筋炎の1例	左 信哲 磯浦喜晴 木村幸嗣 寺村崇哉 山本昌周 和田芳郎 住田 裕	第21回泉州小児科症例勉強会	2016.2.18

研究業績：診療局 外科

(1) 和文原著、総説、著書

番号 整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	乳腺:非造影と造影の有用性	位藤俊一 何森亜由美	映像情報Medical	47(5)	466-470	2015
2	乳がん検診要精検症例に対する造影超音波	位藤俊一 宇治公美子 伊豆蔵正明	インナービジョン	30(8)	63-64	2015
3	経口アンビルによる縦隔内吻合後の難治性瘻孔形成に対してフィブログミンP®が著効した胃全摘の1例	山村憲幸	MEDICAL TORCH	11(2)	46-47	2015
4	低リン血症を呈した幼児十二指腸穿孔の1例	正林大希 飯干泰彦 西谷暁子 宇治公美子 山村憲幸 藤井 仁 今里光伸 金 浩敏 位藤俊一 伊豆蔵正明	日本小児外科学会雑誌	51(7)	1168-1172	2015
5	過剰診断について	位藤俊一	超音波医学	43(1)	1-2	2016

(2) 国際学会報告

番号 整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	Contrast-enhanced ultrasound imaging in radiofrequency ablation of primary breast carcinoma	Ito T	ACTA2015	口演	2015.10.30-31
2	The Layers of Appendiceal Wall and Abscess Size Change as Reasonable Factors to Assess the Efficacy of Conservative Therapy for Appendicitis with Abscess Formation	Nakamura K, Iiboshi Y, Fukui M, Ito T, Izukura M	9th Annual Conference of Cambodian Society of Pediatric Surgery	口演	2015.11.19
3	Contrast-enhanced Ultrasound Imaging Ablation Therapy for Primary Breast Carcinoma	Ito T	RSNA2015	口演	2015.11.29-12.4

(3) 国内学会報告

番号 整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	早期乳癌に対する造影超音波を併用したラジオ波焼灼療法の検討	位藤俊一 飯干泰彦 山村憲幸 西谷暁子 藤井 仁 今里光伸 金 浩敏 藤井亮知 宇治久美子 今北正美 伊豆蔵正明	第115回日本外科学会 定期学術集会	一般演題	2015.4.18
2	4型胃癌と鑑別が困難であった乳癌腹膜播種の1例	山本寛也 宇治公美子 藤井亮知 金 浩敏 今里光伸 藤井 仁 西谷暁子 山村憲幸 飯干泰彦 位藤俊一 伊豆蔵正明	第115回日本外科学会 定期学術集会	ポスターセッション	2015.4.18
3	非腫瘍性病変乳腺疾患ガイドライン(案)	位藤俊一	日本超音波医学会第88 回学術集会	ワークショップ	2015.5.22-24

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
4	乳癌術後晩期再発により消化管狭窄をきたした一例	中村雅美 宇治公美子 西谷暁子 飯干泰彦 山村憲幸 藤井 仁 今里光伸 今北正美 位藤俊一 伊豆蔵正明	日本超音波医学会第88回学術集会	一般演題	2015.5.22-24
5	鼠径ヘルニアにおける術前各種診断能の検討	金 浩敏 今里光伸 大久保恵太 宇治公美子 西谷暁子 山村憲幸 飯干泰彦 中村雅美 位藤俊一 伊豆蔵正明	第13回日本ヘルニア学会学術集会	ポスターセッション	2015.5.23
6	甲状腺腫瘍診断における造影超音波の経験	位藤俊一 宇治公美子 飯干泰彦 山村憲幸 西谷暁子 藤井 仁 今里光伸 金 浩敏 藤井亮知 今北正美 伊豆蔵正明	第27回日本内分泌外科学会総会	口演	2015.5.28-29
7	低リン血症を呈した幼児十二指腸穿孔の1例	正林大希 飯干泰彦 西谷暁子 宇治公美子 山村憲幸 藤井 仁 今里光伸 金 浩敏 位藤俊一 伊豆蔵正明	第52回日本小児外科学会学術集会	ポスターセッション	2015.5.28-30
8	StageIV閉塞性大腸癌に対しステント留置後に化学療法を施行した1例	今里光伸 金 浩敏 大久保恵太 宇治公美子 西谷暁子 山村憲幸 飯干泰彦 位藤俊一 伊豆蔵正明	第89回日本消化器内視鏡学会総会	一般演題	2015.5.29-31
9	Imatinib投与によりSUVmax値が減少したFDG集積亢進を示す食道平滑筋腫の稀な一例	山村憲幸 人羅俊貴 藤井亮知 伊豆蔵正明 今北正美	第69回日本食道学会学術集会	一般演題	2015.7.2-3
10	ラジオ波焼灼療法:後方視的多施設共同研究解析結果	位藤俊一	第23回日本乳癌学会学術総会	モーニングセミナー講演	2015.7.2-4
11	センチネルリンパ節生検を行った症例における造影超音波所見によるリンパ節転移診断の検討	宇治公美子	第23回日本乳癌学会学術総会	一般演題	2015.7.2-4
12	術前広がり診断に造影超音波が有用であった髄様癌の1例	高木麻衣 位藤俊一 宇治公美子 飯干泰彦 山村憲幸 西谷暁子 藤井 仁 今里光伸 金 浩敏 藤井亮知 伊豆蔵正明 今北正美	第23回日本乳癌学会学術総会	一般演題	2015.7.2-4
13	当院での切除困難・不能胃癌に対する術前化学療法を用いた治療経験	山村憲幸 位藤俊一 飯干泰彦 西谷暁子 今里光伸 金 浩敏 藤井亮知 宇治公美子 伊豆蔵正明	第70回日本消化器外科学会総会	一般演題	2015.7.15-17
14	切除不能・再発GISTに対する集学的治療	西谷暁子	第70回日本消化器外科学会総会	一般演題	2015.7.15-17
15	G-CSF産生腫瘍と考えられた十二指腸炎症性筋線維芽細胞性腫瘍の1例	藤井 仁 位藤俊一 飯干泰彦 山村憲幸 西谷暁子 今里光伸 金 浩敏 藤井亮知 宇治公美子 伊豆蔵正明	第70回日本消化器外科学会総会	一般演題(ミニオーラル)	2015.7.15-17
16	抗EGFR抗体の再投与を行った進行・再発大腸癌症例の検討	金 浩敏 今里光伸 藤井 仁 宇治公美子 藤井亮知 西谷暁子 山村憲明 飯干泰彦 位藤俊一 伊豆蔵正明	第13回日本臨床腫瘍学会学術集会	ポスターセッション	2015.7.16-18

番号整理	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
17	当院における過去5年間の乳房再建手術症例の検討	宇治公美子	第3回日本乳房オンコプ ラスティックサージャリー 学会	一般演題	2015.9.3-4
18	乳房領域における造影超音波の意義	位藤俊一 宇治公美子 飯干泰彦 山村憲幸 西谷暁子 今里光伸 金 浩敏 新谷紘史 大久保恵太 横田純己 伊豆蔵正明	第35回日本乳腺甲状腺 超音波医学会	パネルディス カッション	2015.9.19-20
19	胆嚢癌との鑑別が困難であった黄色 肉芽腫性胆嚢炎 (xanthogranulomatous cholecystitis : XGC)の一例	中村雅美 大久保恵太 位藤俊一 飯干泰彦 山村憲幸 西谷暁子 今里光伸 金 浩敏 宇治公美子 伊豆蔵正明 今北正美	日本超音波医学会第42 回関西地方会学術集会	一般演題	2015.9.26
20	当院における腹腔鏡下腹壁ヘルニア 修復術の導入	今里光伸 金 浩敏 西谷暁子 山村憲幸 飯干泰彦 位藤俊一 伊豆蔵正明	第28回日本内視鏡外科 学会総会	一般演題	2015.10.12
21	術前化学療法が著効した食道胃接合 部癌の2例	藤井亮知	第53回日本癌治療学会 学術集会	ポスターセッ ション	2015.10.29-31
22	当院の直腸癌手術における経肛門減 圧ドレーン(マレコカテーテル)の有用 性	今里光伸 金 浩敏	第70回日本大腸肛門病 学会学術集会	一般演題	2015.11.13-14
23	腹腔鏡下胃切除術における背側剥離 を先行するNo. 6リンパ節郭清	出村公一 大森 健 西谷暁子 山村憲幸 大久保恵太 新谷紘史 宇治公美子 金 浩敏 今里光伸 飯干泰彦 位藤俊一 伊豆蔵正明 友国 晃 三吉範克 杉村啓二郎 秋田裕史 高橋秀典 小林省吾 安井昌義 宮田博志 大植雅之 藤原義之 矢野雅彦 左近賢人	第77回日本臨床外科学 会総会	特別演題	2015.11.26-28
24	胃癌に合併した十二指腸乳頭部 gangliocytic paragangliomaの1例	藤井亮知 山村憲幸 西谷暁子 位藤俊一 飯干泰彦 今里光伸 金 浩敏 宇治公美子 今北正美 伊豆蔵正明	第77回日本臨床外科学 会総会	一般演題	2015.11.26-28
25	No.6リンパ節郭清における背側剥離を 先行する視野展開	出村公一 大森 健 西谷暁子 山村憲幸 大久保恵太 新谷紘史 宇治公美子 金 浩敏 今里光伸 飯干泰彦 位藤俊一 伊豆蔵正明 友国 晃 三吉範克 杉村啓二郎 秋田裕史 高橋秀典 小林省吾 安井昌義 宮田博志 大植雅之 藤原義之 矢野雅彦 左近賢人	第28回日本内視鏡外科 学会総会	パネルディス カッション	2015.12.10-13
26	各種インターベンションの適応と注意 点	位藤俊一	日本超音波医学会 超 音波診断講習会—乳腺 —	口演	2016.1.16
27	当院における大腸癌手術に対する ERASの導入の経験	金 浩敏	第31回日本静脈経腸栄 養学会学術集会	一般演題(ポ スター)	2016.2.25-26

(4) 研究会・講演会

番号 整理	演 題	発 表 者	研 究 会 名	年 月 日
1	最新超音波診断手法～造影超音波、SMI造影～	位藤俊一	第10回中四国乳房超音波研究会	2015.10.12
2	6番郭清 3D展開と背側先行剥離	出村公一	究極の一手	2015.12.19
3	乳頭直下におよび乳管内進展の診断に対する造影超音波検査の可能性 ～Nipple sparing mastectomy 症例での検討～	河住 亮 宇治公美子 位藤俊一 飯干泰彦 山村憲幸 出村公一 西谷暁子 今里光伸 金 浩敏 大久保恵太 新谷紘史 今北正美 伊豆蔵正明	第59回阪南乳腺疾患研究会	2016.1.30
4	新たな超音波診断による乳癌診療ブルースルー ～ソナゾイド造影超音波の日常臨床での使用方法を中心に～	位藤俊一	第44回高知県乳癌研究会	2016.2.5
5	「TAE後6年目に閉塞性黄疸をきたした肝門部腫瘍の1例」 症例コメンテーター:大久保恵太	吉田雄太	第29回専門医を目指す消化器セミナー	2016.2.26
6	甲状腺癌・乳癌の診断と治療 — 超音波ガイド下 低侵襲治療を含めて—	位藤俊一	第3回腫瘍核医学診断治療セミナー	2016.2.27
7	乳がん診療における造影超音波の役割	位藤俊一	第44回滋賀乳腺・マンモグラフィカンファレンス	2016.3.5

(5) 学術講演・講義

番号 整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	乳がん診療における造影超音波の位置付け～肝転移診断を含めて～	位藤俊一	第274回OPEN FLIM CONFERENCE	2015.6.11
2	看護にいかす疾病論Ⅱ(急病)	飯干泰彦	関西医療大学特別講演	2015.6.19
3	当院での大腸癌治療における取組	金 浩敏	第26回りんくう消化器病研究会	2015.6.27
4	看護にいかす疾病論Ⅱ(急病)	飯干泰彦	関西医療大学特別講演	2015.7.3
5	乳がんに対するラジオ波焼灼療法(RFA)について	位藤俊一	第16回乳癌最新情報カンファレンス	2015.8.21-22
6	肺梗塞、感染症心内膜炎合併進行乳癌に対しモーズ軟膏にて良好な局所コントロールをし得た一例	待場優里 宇治公美子 横田純己 新谷紘史 大久保恵太 金 浩敏 今里光伸 西谷暁子 山村憲幸 飯干泰彦 位藤俊一 伊豆蔵正明	第16回乳癌最新情報カンファレンス	2015.8.21-22
7	術中3D超音波を施行した膵癌の一症例	大久保恵太	第19回りんくう乳腺・内分泌研究会	2015.10.17
8	りんくう総合医療センターにおける肝がん治療の現況—感染対策を含めて—	大久保恵太	第11回りんくう外科連携セミナー	2015.11.18
9	技術認定を目指して～腹腔鏡下S状結腸切除術	金 浩敏	第31回大腸外科検討会	2015.11.20
10	消化器外科の肝臓	位藤俊一	関西医療大学特別講演	2016.1.15
11	消化器外科の膵臓	位藤俊一	関西医療大学特別講演	2016.1.15

(6) 院内研究活動

番号 整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
1	創傷処置の常識・非常識 vol.2	今里光伸	院内勉強会 (8海病棟)	2015.10.5
2	創傷処置の常識・非常識 vol.2	今里光伸	院内勉強会 (手術室)	2015.10.20
3	胃癌の最新治療	出村公一	りんくうカンファレンス第192回	2015.11.19
4	創傷処置の常識・非常識 vol.2	今里光伸	院内勉強会 (救命科医師・看護師)	2015.11.30
5	創傷処置の常識・非常識 vol.2	今里光伸	院内勉強会 (外科)	2015.12.22
6	腹腔鏡手術 勉強会 ラパロ集中講座-総集編1-	出村公一	院内勉強会 (手術室)	2016.2.12
7	腹腔鏡手術 勉強会 ラパロ集中講座-総集編2-	出村公一	院内勉強会 (手術室)	2016.2.18
8	急性腹症～急性虫垂炎、腸閉塞を中心に～	新谷紘史	第189回臨床集談会	2016.2.25

(7) 座長

番号 整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	造影超音波が乳腺治療に何をもたらすのか？ (日本超音波医学会との共同企画)	位藤俊一	第34回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会	2015.5.22-24
2	ケースカンファレンス-次の一手は-	位藤俊一	第34回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会	2015.5.22-24
3	ポスター討議40「画像 造影US」	位藤俊一	第23回日本乳癌学会学術総会	2015.7.2-4

番号整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年月日
4	希望あふれるがん治療～チーム力で立ち向かう、あきらめない個別化治療～ 第一部	位藤俊一	第4回泉州がん医療フォーラム	2015.9.6
5	見逃さない超音波検査のコツ「乳腺」	位藤俊一	日本超音波医学会第42回関西地方会	2015.9.26
6	各種インターベンションの適応と注意点	位藤俊一	日本超音波医学会 超音波診断講習会—乳腺—	2016.1.16
7	乳頭直下におよび乳管内進展の診断に対する造影超音波検査の可能性 ～Nipple sparing mastectomy 症例での検討～	位藤俊一	第59回阪南乳腺疾患研究会	2016.1.30

研究業績：診療局 整形外科

(1) 和文原著、総説、著書

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	2種類の Navigation system を用いて metal augment を、同一 screw を固定した白蓋再建法	澤田典与司 藪野互平 濱本秀一 亀山 貞 金澤元宣	Hip Joint	41	471-472	2015
2	UKAにおける変性矯正を Navigation で予測できるか？	澤田典与司 藪野互平 亀山 貞 濱本秀一 金澤元宣	日本人工関節学会誌	45	855-856	2015

(2) 国際学会報告

番号整理	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	Short-Term Results of TKA by the Hybrid Navigation Technuque(Combination of Navigation and Gap Technique)	Noriyoshi Sawada, Kohei yabuno, Motonori Kanazawa	ISTA2015	Poster	2015.10.1
2	Effect of Femoral Offset on soft Tensioning in Total Hip Arthroplasty intraoperative Measure With CT Based Navigation	Kohei yabuno, Noriyoshi Sawada, Motonori Kanazawa	ISTA2015	Oral	2015.10.2
3	Effect Of Femoral Offset On Hip Instability Total Hip Arthroplasty-intraoperative Measure With Ct Based Navigation	Kohei yabuno, Noriyoshi Sawada, Yuki Etani, Motonori Kanazawa	ORS 2016 Annual Meeting	Poster	2016.3.5
4	Accuracy of Tibial Component Implantation in Unicompartmental Knee Arthroplasty Using a Navigation System	Noriyoshi Sawada, Kohei yabuno, Yuki Etani, Rintaro Okada, Motonori Kanazawa	ORS 2016 Annual Meeting	Poster	2016.3.5
5	Risk Factors Of Deep Flexion Instability In Mobile Bearing Unicompartmental Knee Arthroplasty (UKA)	Noriyoshi Sawada, Kohei Yabuno, Noriyoshi Sawada, Motonori Kanazawa	ORS 2016 Annual Meeting	Poster	2016.3.5

(3) 国内学会報告

番号整理	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	人工膝関節置換術後早期に偽痛風発作を生じた2例	惠谷悠紀 西川昌孝 金城聖一 大脇 肇	第59回日本リウマチ学会総会学術集会(名古屋)	ポスター	2015.4.22
2	人工股関節全置換術後の歩行アシストロボットの効果と筋萎縮の関係	濱本秀一 藪野互平 亀山 貞 澤田典与司 金澤元宣	第88回日本整形外科学会学術集会(神戸)	ポスター	2015.5.23
3	UKA (unicompartmental Knee arthroplasty)におけるnavigationの脛骨コンポーネント設置精度	澤田典与司 藪野互平 亀山 貞 濱本秀一 金澤元宣	第88回日本整形外科学会学術集会(神戸)	口演	2015.5.24
4	人工股関節全置換術後におけるロボットアシスト歩行訓練と通常の理学療法との比較	藪野互平 澤田典与司 亀山 貞 濱本秀一 金澤元宣	第88回日本整形外科学会学術集会(神戸)	ポスター	2015.5.24
5	スペシャルテーブルを使用したDirect Anterior Approachによるナビゲーション人工股関節全置換術の習熟曲線	藪野互平 澤田典与司	第42回日本股関節学会学術集会(大阪)	口演	2015.10.30

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
6	デザイン異なる2種類のTaper-Wedge型ステムのステム周囲骨反応について～J-TaperとAccolade1ステムの比較～	澤田典与司 藪野互平 惠谷悠紀 岡田倫太郎 金澤元宣	第42回日本股関節学会学術集会(大阪)	口演	2015.10.30
7	人工股関節全置換術後における歩行アシストロボットと通常の歩行訓練比較	藪野互平 澤田典与司 惠谷悠紀 岡田倫太郎 金澤元宣	第10回日本リハビリテーション医学会専門医学術集会(東京)	口演	2015.11.27
8	スペシャルテーブルとナビゲーションの併用は前方アプローチTHAの導入を容易にするのか?	藪野互平 澤田典与司 惠谷悠紀 岡田倫太郎 金澤元宣	第46回日本人工関節学会(大阪)	口演	2016.2.26
9	モバイルベアリング型UKAにおける深屈曲時内側 gap 開大の危険因子	惠谷悠紀 藪野互平 澤田典与司 惠谷悠紀 岡田倫太郎 金澤元宣	第46回日本人工関節学会(大阪)	ポスター	2016.2.26
10	Oxford UKA (Unicompartmental Knee Arthroplasty)における Navigation の有用性	澤田典与司 藪野互平 惠谷悠紀 岡田倫太郎 金澤元宣	第46回日本人工関節学会(大阪)	口演	2016.2.26

(4) 研究会・講演会

番号整理	演 題	発 表 者	研 究 会 名	年 月 日
1	白蓋骨欠損に対する白蓋再建 Metal augment とCupを同一screw固定した白蓋再建法	澤田典与司 藪野互平 金澤元宣	第9回大阪大学股関節グループサマーセミナー2015(大津市)	2015.7.11
2	国際学会は歩行アシストをどう評価したか?—股関節と歩行アシストとの臨床研究を通じて—	藪野互平 澤田典与司 惠谷悠紀 岡田倫太郎 金澤元宣	第2回歩行リハビリテーション研究会(福岡)	2015.7.25
3	ロボットリハビリの臨床応用について	澤田典与司 藪野互平 金澤元宣	第2回歩行リハビリテーション研究会(福岡)	2015.7.26
4	人工股関節置換術後症例に対するロボット歩行の有効性歩容の改善に向けた症例を通して」	山川雅史 藪野互平 澤田典与司 惠谷悠紀 岡田倫太郎 金澤元宣	第2回歩行リハビリテーション研究会(福岡)	2015.7.26

(5) 学術講演・講義

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	運動器疾患	金澤元宣	泉佐野泉南医師会看護専門学校	2015.10.11
2	痛みのないひざ股関節よもう一度!	藪野互平 澤田典与司	いずみ市民講座(和泉市)	2015.11.8
3	急性期病態額	金澤元宣	関西医療大学	2016.1

(6) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
1	注意すべき腰背部痛(整形外科領域を中心に)	金澤元宣	第185回臨床集談会	2015.10.22

研究業績：診療局 心臓血管外科

(1) 英文原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	Adipose-derived stem cell sheet transplantation therapy in a porcine model of chronic heart failure.	O. Ishida, I. Hagino, N. Nagaya, T. Shimizu, T. Okano, Y. Sawa, H. Mori and T. Yagihara	Transl Res	165(5)	631-639	2015
2	Impact of Ross Operation on Outcome in Young Female Adult Patients Wanting to Have Children.	K. Morimoto, T. Hoashi, K. Kagisaki, J. Yoshimatsu, I. Shiraiishi, H. Ichikawa, J. Kobayashi, T. Nakatani, T. Yagihara, S. Kitamura and T. Fujita	Circulation Journal	79(9)	1976-1983	2015

(2) 国際学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	The Surgical Treatment of Atrial Isomerism : Single Center Experience of 353 Cases.	Ichikawa H, Hoashi T, Kagisaki K, Yagihara T	95th Annual Meeting of American Association for Thoracic Surgery, Seattle, USA	MODERATED POSTER COMPETITION	2015.4.28
2	BNP AS USEFUL PROGNOSTIC FACTOR IN HEMODIALYSIS PATIENTS AFTER AORTIC VALVE REPLACEMENT	川村 匡	23rd Annual Meeting of the Asian Society for Cardiovascular and Thoracic Surgery		2015.5.11-14
3	The advantage of Fontan conversion before the occurrence of late Fontan complication.	Higashida A, Kagisaki K, Hoashi T, Morimoto K, Yagihara T, Ichikawa H	29th European Association for Cardio-Thoracic Surgery Annual Meeting, Amsterdam, Netherlands	Oral presentation	2015.10.5

(3) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	外傷性膝窩動脈閉塞に対して急性期の経カテーテル的治療後、二期的に根治手術を施行した1例	井手 亨 松江 一 川村 匡 井戸口幸二(救命)	第43回日本血管外科学会学術総会	口演	2015.6.3-5
2	PCIによる左冠動脈主幹部穿孔で生じた冠動脈仮性瘤の手術例	井手 亨 川村 匡 松江 一	第58回関西胸部外科学術集会		2015.6.12-13
3	Atrial Isomerismの外科治療成績向上のためのStrategy 346例の後方視的検討	市川 肇 帆足孝也 鍵崎康治 木戸高志 大内秀雄 八木原俊克 白石 公	第51回日本小児循環器学会, 東京	口演, モーニング グレクチャー	2015.7.17
4	挙児希望若年成人女性に対するRoss手術の有用性	森本和樹 鍵崎康治 帆足孝也 吉松 淳 藤田知之 小林順二郎 白石 公 八木原俊克 市川 肇	第51回日本小児循環器学会, 東京	口演, 要望演題	2015.7.17
5	先天性心疾患の術後成人期の問題点と再手術	八木原俊克	第63回日本心臓病学会学術集会, 横浜	口演, シンポジウム	2015.9.20
6	肺動静脈瘻の先にある問題点: 下大静脈欠損合併機能的単心室に対するFontan循環完成後遠隔期臨床像	木戸高志 帆足孝也 鍵崎康治 島田勝利 八木原俊克 市川 肇	第68回日本胸部外科学会, 神戸	口演, Debate	2015.10.17

(4) 学術講演・講義

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	看護に生かす疾病論II(急性)、:先天性心疾患	八木原俊克	関西医療大学講義	2015.5.29
2	循環器疾患 -心臓の構造・機能と外科治療(1)-	八木原俊克	泉佐野医師会看護学校講義	2015.11.2
3	循環器疾患 -心臓の構造・機能と外科治療(2)-	八木原俊克	泉佐野医師会看護学校講義	2015.11.2
4	教育講演:単心室の手術 -術式の歴史と今後の展開-	八木原俊克	第13回日本成人先天性心疾患セミナー	2015.11.21
5	小児循環器疾患の克服戦略 -チーム医療で命を救う-	八木原俊克	大阪医専スペシャルゼミ	2015.12.22

(5) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
1	急性大動脈解離～救急外来での対応法、CTの見方、治療について～	鎌田創吉	第187回臨床集談会	2015.12.24

(6) 座長

番号整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	モーニンググレクチャー1「Atrial Isomerismの外科治療成績向上のためのStrategy:346例の後方視的検討」	八木原俊克	第51回日本小児循環器学会, 東京	2015.7.17
2	シンポジウム 17:先天性心疾患術後成人期における問題点と再手術, インターベンション	八木原俊克	第63回日本心臓病学会学術集会, 横浜	2015.9.20
3	特別講演 1. 「2025年へのカウントダウン～地域医療構想と地域連携～」、武藤正樹	八木原俊克	第9回日本医療マネジメント学会大阪支部集会	2016.2.27

研究業績：診療局 脳神経外科

(1) 英文原著、総説、著書

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	Lumbar-Peritoneal Shunt followed by Donepezil Administration for Residual Cognitive Impairment in Idiopathic Normal Pressure Hydrocephalus:A Case Report	森内秀祐 出原 誠 清水豪士 福屋章悟 福永貴典 萩原 靖 宗田高穂	Neurology & Neurophysiology		6:2 1000274	2015

(2) 和文原著、総説、著書

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	MRA元画像で確認された椎骨動脈解離のdouble lumen sign	宗田高穂 川井正統 千田賢作 出原 誠 森内秀祐	神経内科	82(4)	446-447	2015
2	脳腫瘍周術期けいれん発作コントロールにおけるfosphenytoinとphenytoin併用の有効性の検討	森内秀祐 出原 誠 福永貴典 千田賢作 川井正統 萩原 靖 宗田高穂	てんかん研究	33	12-19	2015

(3) 国際学会報告

番号整理	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	Efficacy of fosphenytoin with oral phenytoin for control of postoperative seizures of brain tumor patients	S. Moriuchi	The 15th Interim Meeting of the World Federation of the Neurosurgical Societies	Oral	2015.9.8
2	Initial Results of Rapid Endovascular Treatment of Ischemic Stroke with Stent Retriever	M. Kawai, M. Dehara, D. Nakatsu, Y. Hagihara, T. Soda, S. Moriuchi	28th The International Symposium on Endovascular Therapy(ISET 2016	Poster	2016.2.6

(4) 国内学会報告

番号整理	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	延髄-頸髄内神経腫瘍術後四肢麻痺にレッドコードによるバランス練習が奏効し社会復帰した高度肥満の一例	森内秀祐 藤野文崇 榎谷昭一	第52回日本リハビリテーション医学会学術集会(新潟)	ポスター	2015.5.29
2	脳ドックにて発見された無症候性膠芽腫の1例	森内秀祐 出原 誠 千田賢作 川井正統 萩原 靖 宗田高穂	第24回日本脳ドック学会(横浜)	口演	2015.6.6
3	高齢者頭部外傷は増えているか:年齢層にみた頭部外傷発生率と受傷機転	萩原 靖	第29回日本外傷学会総会・学術集会(札幌)	口演	2015.6.11
4	脳腫瘍周術期てんかんコントロールにおけるホスフェニトイン・フェニトイン併用療法の有効性の検討	森内秀祐 出原 誠 千田賢作 川井正統 萩原 靖 宗田高穂	第29回日本脳神経外科学会総会(札幌)	ポスター	2015.10.14
5	イーグル症候群に合併した内頸動脈閉塞症の一例	川井正統 出原 誠 中津大輔 萩原 靖 宗田高穂 森内秀祐	第74回日本脳神経外科学会総会(札幌)	ポスター	2015.10.14
6	長尺Yコネクター固定板	出原 誠 行 正剛 中津大輔 川井正統 宗田高穂 萩原 靖 森内秀祐	第74回日本脳神経外科学会総会(札幌)	ポスター	2015.10.14
7	喉頭蓋窩減圧開頭により救命し得た先天性静脈形成異常(DVA)による小脳出血の一例	中津大輔 萩原 靖 出原 誠 川井正統 森内秀祐	第74回日本脳神経外科学会総会(札幌)	ポスター	2015.10.15
8	減圧開頭で救命し得た外傷性喉頭蓋窩血腫の4例	萩原 靖 出原 誠 中津大輔 川井正統	第74回日本脳神経外科学会総会(札幌)	ポスター	2015.10.16
9	CRASH3研究—国際共同ランダム化二重盲検プラセボ対象試験への参加経験—	萩原 靖	第43回日本救急医学会総会・学術集会(東京)	シンポジスト	2015.10.21
10	診断に苦慮した頭痛発症の頭蓋咽頭腫と思われた鞍内～鞍上部巨大胚種	森内秀祐 川井正統 出原 誠 中津大輔 萩原 靖 宗田高穂	第43回日本頭痛学会総会(東京)	口演	2015.11.14

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
11	脳動脈瘤コイル塞栓術93例でのY-connector holder boardの使用経験	出原 誠 行 正剛 中津大輔 川井正統 宗田高穂 萩原 靖 森内秀祐	第31回日本脳神経血管内治療学会学術集会(岡山)	口演	2015.11.19
12	アクセスルートのない脳底動脈閉塞症に対して急性期塞栓回収術を施行した一例	川井正統 中津大輔 井間博之 出原 誠 宗田高穂 萩原 靖	第31回日本脳神経血管内治療学会学術集会(岡山)	ポスター	2015.11.19
13	recombinant tissue plasminogen activator(rt-PA)の施行が苦慮された胸部大動脈解離との鑑別が困難であった胸部大動脈を伴う脳底動脈閉塞症の1例	中津大輔 出原 誠 川井正統 萩原 靖 森内秀祐	第31回日本脳神経血管内治療学会学術集会(岡山)	ポスター	2015.11.19
14	神経膠腫のMGMTメチル化判定法の比較検討	梅原 徹 正札智子 沖田典子 埜中正博 森内秀祐 藤中俊之 金村米博	第33回日本脳腫瘍学会学術集会(京都)	ポスター	2015.12.6
15	関西地区における脳腫瘍文士診断ネットワークの構築	森 鑑二 金村米博 沖田典子 寺川雄三 露口尚弘 深井順也 友金祐介 森内秀祐 瀧 琢有 埜中正博 石橋謙一 木下 学 有田英之 西田南海子 中島義和 橋本直哉	第33回日本脳腫瘍学会学術集会(京都)	口演	2015.12.6
16	悪性脳腫瘍周術期けいれん発作抑制におけるfosphenytoinとphenytoin併用療法の有効性	森内秀祐 出原 誠 千田賢作 川井正統 萩原 靖 宗田高穂	第33回日本脳腫瘍学会学術集会(京都)	ポスター	2015.12.6
17	高齢者頭部外傷は増えているか 一年齢別に見た頭部外傷発生率と受傷機転	萩原 靖 出原 誠 井間博之 中津大輔 川井正統	第39回日本脳神経外科外傷学会(大阪)	口演	2016.2.26

(5) 研究会・講演会

番号整理	演 題	発 表 者	研 究 会 名	年 月 日
1	ITB療法ポンプ植込み手術手技、リフィル手技	出原 誠	ITB療法ハンズオンセミナー(神戸)	2015.6.17
2	泉州地域での脳卒中治療における当施設の役割	萩原 靖	第10回泉州脳神経COLLQUIA(泉佐野)	2015.12.10
3	急性期脳梗塞治療の実際	出原 誠	脳梗塞治療最前線～Time is Brain～(大阪)	2015.12.12

(6) 学術講演・講義

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	脳神経外科総論と脳腫瘍	森内秀祐	看護にいかす疾病論Ⅱ(急性) 関西医療大学	2015.5.13
2	脳血管障害	出原 誠	看護にいかす疾病論Ⅱ(急性) 関西医療大学	2015.5.20
3	脳神経外科・頭部外傷	萩原 靖	看護にいかす疾病論Ⅱ(急性) 関西医療大学	2015.5.27
4	脳腫瘍、脳・神経系感染症、末梢神経障害	森内秀祐	疾病論Ⅱ 脳神経系疾患 泉佐野泉南医師会看護専門学校	2015.10.7
5	脳血管障害	出原 誠	疾病論Ⅱ 脳神経系疾患 泉佐野泉南医師会看護専門学校	2015.10.21
6	神経・筋疾患、脱髄・変性疾患	宗田高穂	疾病論Ⅱ 脳神経系疾患 泉佐野泉南医師会看護専門学校	2015.10.28
7	脊髄疾患	中津大輔	疾病論Ⅱ 脳神経系疾患 泉佐野泉南医師会看護専門学校	2015.10.28
8	頭部外傷、脳脊髄液(髄液)の異常	萩原 靖	疾病論Ⅱ 脳神経系疾患 泉佐野泉南医師会看護専門学校	2015.11.4

(7) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
1	脳外科医からみる画像診断	萩原 靖	第186回臨床集談会	2015.11.26

(8) 座長

番号整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	頭部外傷	森内秀祐	Neurosurgery Kinki 2015 Spring Meeting	2015.4.18
2	頭部外傷4	萩原 靖	第74回日本脳神経外科学会総会	2015.10.16

研究業績：診療局 形成外科

(1) 研究会・講演会

番号 整理	演 題	発 表 者	研 究 会 名	年 月 日
1	当院で経験したatypical fibroxanthomaの検討	石原崇圭 服部 亮	第43回大阪形成外科医会	2015.9.26
2	全コードレスデバイス(ワンステップドリルタップ、パワードライバー、iQドライバーシステム)による2ステップ吸収性プレート固定の経験	正林大希 石原崇圭 服部 亮	第111回関西形成外科学会学術集会	2015.12.5

研究業績：診療局 呼吸器外科

(1) 国内学会報告

番号 整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	気胸を併発した巨大ブラに対する、胸腔鏡下ブラ切除術-気漏制御のための遊離心膜前脂肪の利用-	桂 浩 百武 威	第32回日本呼吸器外科学会総会	ポスター	2015.5.14
2	骨化を伴った転移性肺癌の1例	別所俊哉 百武 威 桂 浩	第32回日本呼吸器外科学会総会	ポスター	2015.5.14
3	外傷性下横隔膜動脈損傷による遅発性血胸の1例	山梨恵次 桂 浩	第32回日本呼吸器外科学会総会	ポスター	2015.5.14
4	異なった妊娠時期に発症した自然気胸の2例	別所俊哉 百武 威 桂 浩	第58回関西胸部外科学会	口演	2015.6.12

(2) 院内研究活動

番号 整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
1	急性膿胸について	桂 浩	外科カンファレンス	2015.12.8

研究業績：診療局 泌尿器科

(1) 国内学会報告

番号 整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	高齢前立腺癌患者に対する前立腺全摘除術の検討	○西澤 哲 森山泰成 萩野恵三	第103回日本泌尿器科学会総会(金沢市)	ポスター	2015.4.20
2	りんくう総合医療センターにおける膀胱癌に対する膀胱全摘症例の検討	○森山泰成 西澤 哲 萩野恵三	第67回日本泌尿器科学会西部総会(福岡市)	ポスター	2015.11.7
3	りんくう総合医療センター泌尿器科における男子尿道炎の検討	○萩野恵三 森山泰成 西澤 哲	第5回日本性感染症学会関西支部学術大会(京都市)	口演	2015.12.19

研究業績：診療局 耳鼻咽喉科

(1) 和文原著、総説、著書

番号 整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	心因性失声	中原 啓 間三千夫	JOHNS	31(11)	1643-1647	2015
2	補聴器について	間三千夫	和歌山保険医新聞	8月号		2015
3	小児の言語治療について	間三千夫	和歌山保険医新聞	10月号		2015
4	21世紀の地域医療「聴覚・言語支援センター」開設のご案内	中原 啓	ニュースせんなん	12月号	3	2015

(2) 国際学会報告

番号 整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	Necessary of T-level Measurement in MED-EL Device	Hazama M., Sasaki M., Nakahara K., Sakoda T., Hojo T., Nomura N., Kawano A., Enomoto T.	12th European Symposium on Pediatric Cochlear Implants (ESPCI 2015) (Toulouse, France)	Poster	2015.6.18-21

(3) 国内学会報告

番号	整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1		生後発症の難聴が考えられた言語発達遅滞児2例	中原 啓 間三千夫 河野 淳	第10回日本小児耳鼻咽喉科学会(長野県軽井沢町)	口演	2015.5.8-9
2		小児の心因性難聴の発症によって明らかとなった学習障害児の症例報告	間三千夫 中原 啓 河野 淳	第10回日本小児耳鼻咽喉科学会(長野県軽井沢町)	口演	2015.5.8-9
3		頭頸部癌セカンドレジメンとしてのTXT-CPT療法	碓田猛真 野村直孝 宝上竜也 中原 啓 榎本雅夫	第116回日本耳鼻咽喉科学会総会(東京)	口演	2015.5.20-23
4		補聴器や人工内耳の装用児の進路	野村直孝 間三千夫 宝上竜也 中原 啓 碓田猛真 河野 淳 北野博也 榎本雅夫	第116回日本耳鼻咽喉科学会総会(東京)	口演	2015.5.20-23
5		頭頸部癌セカンドレジメンとしてのTXT-CPT療法	碓田猛真 野村直孝 宝上竜也 中原 啓 榎本雅夫	第333回日耳鼻大阪地方連合会(大阪市)	口演	2015.6.6
6		当科におけるエコーガイド下甲状腺穿刺吸引細胞診(FNA)の統計	宝上竜也 野村直孝 中原 啓 碓田猛真 榎本雅夫	第77回耳鼻咽喉科臨床学会(浜松市)	ポスター	2015.6.25-26
7		頭頸部癌セカンドレジメンとしてのTXT-CPT療法	碓田猛真 野村直孝 宝上竜也 中原 啓 榎本雅夫	第13回日本臨床腫瘍学会(札幌市)	口演	2015.7.16-18
8		結核が頭頸部癌治療に影響を与えた症例	中原 啓	第3回日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会(札幌市)	口演	2015.9.3-4
9		脳梗塞の起因と考えられた茎状突起過長症例	宝上竜也 野村直孝 中原 啓 碓田猛真 榎本雅夫	第334回日耳鼻大阪地方連合会(大阪市)	口演	2015.09.05
10		顎下部pleomorphic lipomaの1例	河合弘幸 野村直孝 宝上竜也 中原 啓 碓田猛真 榎本雅夫	第334回日耳鼻大阪地方連合会(大阪市)	口演	2015.9.5
11		当科における真珠腫性中耳炎の臨床統計	碓田猛真 野村直孝 宝上竜也 中原 啓 榎本雅夫	第25回日本耳科学会(長崎市)	口演	2015.10.8-10
12		蝸牛内出血が原因と考えられた進行性急性感音難聴の一例	宝上竜也 野村直孝 中原 啓 碓田猛真 榎本雅夫	第25回日本耳科学会(長崎市)	口演	2015.10.8-10
13		学習障害が誘因と考えられた機能性難聴の2例	中原 啓 間三千夫 野村直孝 宝上竜也 碓田猛真 河野 淳 榎本雅夫	第60回日本音声言語医学会(名古屋市)	口演	2015.10.15-16
14		当科で経験した自閉症児の縦断的研究	間三千夫 佐々木美奈 中原 啓 碓田猛真 河野 淳	第60回日本音声言語医学会(名古屋市)	口演	2015.10.15-16
15		Med-El社製人工内耳のmappingにおけるT-level設定の意義	中原 啓 間三千夫 佐々木美奈 野村直孝 宝上竜也 碓田猛真 河野 淳 榎本雅夫	第60回日本聴覚医学会(東京)	口演	2015.10.21-23
16		Bluetooth®接続による外部機器連動型補聴器の使用経験	間三千夫 佐々木美奈 中原 啓 野村直孝 宝上竜也 碓田猛真 河野 淳 榎本雅夫	第60回日本聴覚医学会(東京)	口演	2015.10.21-23
17		補聴器や人工内耳の装用児の進路	野村直孝 間三千夫 佐々木美奈 中原 啓 宝上竜也 碓田猛真 河野 淳 榎本雅夫	第60回日本聴覚医学会(東京)	口演	2015.10.21-23
18		ニボルマブの使用経験	碓田猛真 野村直孝 宝上竜也 中原 啓 榎本雅夫	第26回日本頭頸部外科学会(名古屋市)	口演	2016.1.28-29

番号 整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
19	人工内耳装用児の進路	野村直孝 宝上竜也 中原 啓 裕田猛真 榎本雅夫	第336回日耳鼻大阪地方 連合会(大阪市)	口演	2016.3.5

(4) 学術講演・講義

番号 整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	耳の疾患	裕田猛真	関西医療大学講義	2015.6.24
2	鼻・咽喉頭の疾患	裕田猛真	関西医療大学講義	2015.6.24
3	機能温存を目指した頭頸部癌治療	裕田猛真	第4回泉州がん医療フォーラム(泉佐野市)	2015.9.6

(5) 院内研究活動

番号 整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
1	声帯の疾患	宝上竜也	7海病棟勉強会	2015.5
2	慢性副鼻腔炎	中原 啓	7海病棟勉強会	2015.6
3	甲状腺疾患	宝上竜也	7海病棟勉強会	2015.7
4	耳鼻科で診る救急疾患	宝上竜也	第182回臨床集談会	2015.7.23
5	鼓室形成術	裕田猛真	7海病棟勉強会	2015.8
6	人工内耳	宝上竜也	7海病棟勉強会	2015.9
7	喉頭摘出	裕田猛真	7海病棟勉強会	2015.10
8	顔面神経麻痺	野村直孝	7海病棟勉強会	2015.11
9	難聴とその補償	裕田猛真	市民健康講座	2015.11.21
10	頸部郭清	中原 啓	7海病棟勉強会	2016.1
11	気管切開	宝上竜也	7海病棟勉強会	2016.2

(6) 座長

番号 整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	当センター外来の現状	間三千夫	ACIC年次フォーラムⅧ(東京)	2015.5.30
2	補聴器の現状と展望	間三千夫	ACIC年次フォーラムⅧ(東京)	2015.5.30
3	補聴器のフィッティングの現状－聴能評価と補聴器装用	間三千夫	ACIC年次フォーラムⅧ(東京)	2015.5.30
4	頭頸部癌2 化学放射線療法 その他	裕田猛真	第13回日本臨床腫瘍学会(札幌市)	2015.7.17
5	乳幼児の補聴器のフィッティングと注意点	間三千夫	難聴児に携わる専門家のためのアドヴァンスドセミナー(東京)	2015.10.24
6	乳幼児のCIのフィッティングと注意点	間三千夫	難聴児に携わる専門家のためのアドヴァンスドセミナー(東京)	2015.10.24
7	2016年春の花粉予想	裕田猛真	第58回和歌山・泉南花粉研究会(和歌山市)	2016.1.17

研究業績：診療局 放射線科

(1) 学術講演・講義

番号 整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	マルチモダリティモニタを用いた読影方法	櫻井康介	第11回EIZOメディカルセミナー (ブリーゼプラザ)	2015.9.27

研究業績：診療局 口腔外科

(1) 英文原著、総説、著書

番号 整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	Clinical Studies on BNCT for 6 Cases of Head and Neck Cancer	I. Kato, T. Iwagami, N. Yamamoto, Y. Fujita, M. Ohmae, M. Suzuki, S. Masunaga, M. Nakazawa, T. Sumi, S. Iwai, A. Maruhashi and K. Ono	KURRI Progress Report 2014		84	2015

(2) 和文原著、総説、著書

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	治療法のない再発口腔がんに対するホウ素中性子捕捉療法の有用性	加藤逸郎 岩上隆紀 山本直典 藤田祐生 大前政利 今井智章 千足浩久 墨 哲郎 中澤光博 小野公二 鈴木 実	定位的放射線治療	19(1)	15-25	2015

(3) 国際学会報告

番号整理	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	Outpatient intra-arterial chemotherapy for oral cancer by subcutaneous implantation of a catheter and reservoir: A new chemotherapy method to improve the quality of life and curative effect	Masatoshi Ohmae, Yusei Fujita, Hiroo Takaoka, Noritoshi Meshii, Itsuro Kato, Mitsuhiro Nakazawa	ECCO18.ESMO40	Poster	2015.9.25-29

(4) 国内学会報告

番号整理	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	治療法のない難治性頭頸部非扁平上皮がん癌患者に対するホウ素中性子捕捉療法	加藤逸郎 岩上隆紀 山本直典 藤田祐生 大前政利 墨 哲郎 岩井聡一 中澤光博 村田 勲 櫻井良憲 増永慎一郎 丸橋 晃 小野公二 鈴木 実 由良義明	第12回日本中性子捕捉療法学会学術大会	口演	2015.9.4-5
2	治療法のない再発頭頸部がん患者に対するホウ素中性子捕捉療法	加藤逸郎 岩上隆紀 山本直典 藤田祐生 大前政利 村田 勲 岩井聡一 墨 哲郎 中澤光博 小野公二 鈴木 実 由良義明	第53日本癌治療学会学術集会	口演	2015.10.29-31

(5) 研究会・講演会

番号整理	演題	発表者	研究会名	年月日
1	頭頸部のあきらめない癌治療	大前政利	泉佐野泉南薬剤師会 第178回勉強会	2015.4.9
2	あきらめない頭頸部がん治療	大前政利	第4回泉州がん医療フォーラム	2015.9.6
3	リザーバー皮下留置による頭頸部癌の外来動注化学療法	大前政利 加藤逸郎 中澤光博	第40回リザーバー研究会	2015.11.27

(6) 院内研究活動

番号整理	演題	発表者	研究活動名称	年月日
1	頭頸部癌の超選択的動注化学療法	大前政利	臨床集談会	2016.1.18

(7) 座長

番号整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年月日
1	講演セッション『一般演題』	大前政利	第12回口腔外科栄養フォーラム	2015.9.6

研究業績：診療局 麻酔科

(1) 英文原著、総説、著書

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	Petechial and subcutaneous hemorrhage with blister formations in right upper extremity during cardiopulmonary bypass by axillary artery cannulation	Kei Kamiutsuri	JA Clinical Reports	2015.1.6	DOI:10.1186 .s40981-015 -0008-3	2015

(2) 和文原著、総説、著書

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	新生児・乳児に対してのエアウェイスコープを用いた気管挿管の所要時間:挿入法の違いによる比較	増江達彦 中村好美 横田 愛 飯田美紀 榊原いづみ 下中浩之 飯田宏樹 伊原正幸 柚木一馬	日小児麻酔会誌	2015;21	167-171	2015
2	デスフルラン・セボフルラン麻酔からの覚醒時間-レミフェンタニル持続投与下でも、デスフルランからの覚醒は早いのか?-	小林俊司 丸山直子 石井菜々子 石山 諭 鶴野広大 森本正昭	日本臨床麻酔学会誌	36(2)	163-167	2016

(3) 国際学会報告

番号整理	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	Preoperative risk factors of severe blood pressure reduction following dural opening during traumatic brain injury	Kamiutsuri K	EJA European Journal of Anaesthesiology	Poster	2015.5.21-6.5

(4) 国内学会報告

番号整理	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	デスフルラン・セボフルラン麻酔からの覚醒時間-レミフェンタニル持続投与下でも、デスフルランからの覚醒は早いのか?-	丸山直子 石井菜々子 大里真之輔 石山 諭 鶴野広大 小林俊司	日本麻酔科学会第62回学術集会 ポスター演題	ポスター	2015.5.28-30
2	未熟児網膜症に対しレーザー光凝固術を行った24症例、31件の検討	木村幸平 小林俊司	日本小児麻酔学会第21回大会	ポスター	2015.8.29-30
3	当院ペインクリニック外来における超音波ガイド下頸部神経根ブロックの検討	丸山直子 石井菜々子 森本正昭 米本紀子 小林俊司	日本麻酔科学会第61回関西支部学術集会	ポスター	2015.9.5
4	持続投与されたロクロニウム の体内残存量を予想する簡易式	石井菜々子 鶴野広大 森本正昭 井戸和己 小林俊司	日本臨床麻酔学会 ポスター演題	ポスター	2015.10.21-23

(5) 学術講演・講義

番号整理	演題	発表者	学術講演会名	年月日
1	麻酔科学	小林俊司	関西医療大学 特別講義	2015.5.14

(6) 院内研究活動

番号整理	演題	発表者	研究活動名称	年月日
1	臨床集談会 中心静脈穿刺	神移 佳	第190回臨床集談会	2016.3.24

研究業績：診療局 国際診療科

(1) 和文原著、総説、著書

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	医療通訳の医療機関での役割	李 節子、南谷かおり	医療通訳と保健医療福祉－全ての人への安心と安全のために－ 杏林書院			2015

(2) 国際学会報告

番号整理	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	Introduction of Center for Global Health, Osaka University	Kaori Minamitani	Groningen-Osaka Bi-annual Conference	口演	2015.10.10

(3) 国内学会報告

番号整理	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	病院における訪日・在留外国人受け入れへの取り組み	南谷かおり	第29回日本医学会総会2015関西	口演	2015.4.11
2	外国人患者に優しい病院:りんくう総合医療センターの現状	入交重雄	第18回日本医学英語教育学会学術集会	口演	2015.7.18

(4) 研究会・講演会

番号整理	演 題	発 表 者	研 究 会 名	年 月 日
1	JMIP推進事業とJMIP認証病院の紹介	南谷かおり	JMIP推進事業 エリア別説明会 in 三重	2015.7.21
2	JMIP推進事業とJMIP認証病院の紹介	南谷かおり	JMIP推進事業 エリア別説明会 in 沖縄	2015.10.22
3	Medical Access Japan	Kaori Minamitani	アブダビにおける日本医療紹介セミナー	2015.12.16

(5) 学術講演・講義

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	外国人患者受け入れの動向と今後の課題	南谷かおり	インタースクール大阪校セミナー	2015.4.4
2	医療通訳という職業について	南谷かおり	ラジオNIKKEI病葉アワー	2015.4.27
3	地域中核病院における国際医療の現状と課題	南谷かおり	大阪大学大学院医学系研究科 国際・未来医療学講座	2015.5.27
4	病院における外国人医療	南谷かおり	日本看護協会神戸研修センター 教育計画研修プログラム	2015.6.5
5	医療通訳養成コースについて	南谷かおり	第8回医療通訳士協議会(JAMI) 総会・シンポジウム	2015.7.18
6	国際医療コーディネーターのお仕事	木村ガーリー	第8回医療通訳士協議会(JAMI) 総会・シンポジウム	2015.7.18
7	医療通訳に求められる人材育成について	南谷かおり	第4回大阪大学臨床医工学情報学連携セミナー	2015.7.29
8	医療の国際化	南谷かおり	広域大学連携事業 地域活性化システム論	2015.8.27
9	JMIP受審へむけて～当院における状況と今後の対策	南谷かおり	第147回阪大病院フォーラム	2015.10.1
10	大阪大学における医療通訳養成の取り組み	南谷かおり	国際交流人材育成講座	2015.11.29
11	医療通訳に必要な知識	南谷かおり	大阪大学大学院高度副プログラム 医療通訳実践論	2015.12.3
12	りんくう総合医療センターにおける外国人診療	南谷かおり	全国市町村国際文化研修所 医療通訳基礎研修	2016.2.26

(6) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
1	当院における外国人診療	南谷かおり	外国人患者受け入れ医療機関認証制度JMIP 訪問調査	2015.12.17

(7) 座長

番号整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	日本の医療通訳の展望:グローバル時代における日本の医療通訳の在り方	入交重雄	第18回日本医学英語教育学会学術集会	2015.7.18
2	口演一セッション「海外調査および視察」	南谷かおり	第31回びわこ国際医療フォーラム	2015.7.19
3	口演一セッション「海外調査および視察」	南谷かおり	第19回日本渡航医学会学術集会	2015.7.25
4	ミニシンポジウム「言葉と文化の壁をこえる国際医療交流:医療通訳士が活躍できる環境をどう創るのか?」	南谷かおり	第19回日本渡航医学会学術集会	2015.7.25
5	口演一セッション「一般演題」	南谷かおり	第32回びわこ国際医療フォーラム	2016.1.23

研究業績：診療局 救命診療科

(1) 英文原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	Fulminant amoebic enteritis that developed in the perinatal period	Mayako Goto, Yasuaki Mizushima, Tetsuya Matsuoka	BMJ			2015
2	The risk of pediatric bicycle handlebar injury compared with non-handlebar injury:a retrospective multicenter study in Osaka	Tomoya Hirose, Hiroshi Ogura, Takeyuki Kiguchi, Yasuaki Mizushima, Futoshi Kimbara, Junya Shimazaki, Shigeru Shiono, Hitoshi Yamamura, Akinori Wakai, Ryosuke Takegawa, Hisatake Matsumoto, Mitsuo ohnishi, and Takeshi shimazu	Scandinavian Journal of Trauma, Resuscitation and Emergency Medicine (Open Acces)	23		2015

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
3	Development of a prehospital vital signs chart sharing system	Taka-aki Nakada,MD,PhD, Naohisa Masunaga,MD, Shota Nakao,MD, Maiko Narita,MD, Takashi Fuse,MD, Hiroaki Watanabe,MD,PhD, Yasuaki Mizushima,MD,PhD, Tetsuya Matsuoka,MD,PhD	American Journal of Emergency Medicine	34	88-92	2016
4	Cardiac arrest due to airway obstruction in hereditary angioedema	Takashi Fuse,MD Taka-aki Nakada,MD,PhD Masashi Taniguchi,MD Yasuaki Mizushima,MD,PhD Tetsuya Matsuoka,MD,PhD	American Journal of Emergency Medicine	33	1840e1 -1840e2	2015
5	Association Between Male Sex and Increased Mortality After Falls	Taka-aki Nakada,MD,PhD, Shota Nakao,MD, Yasuaki Mizushima,MD,PhD, and Tetsuya Matsuoka,MD,PhD	Academic Emergency Medicine		708-713	2015
6	A case of delayed hemothorax with an inferior phrenic artery injury detected and treated endovascularly	Keiji Yamanashi, Shota Nakao, Koji Idoguchi, and Tetsuya Matsuoka	Clinical Case Reports(Open Acces)		1-4	2015
7	Association between increased blood interleukin-6 levels on emergency department arrival and prolonged length of intensive care unit stay for blunt trauma	Masashi Taniguchi, Taka-aki nakada, Koichiro shinozaki, Yasuaki Mizushima, and Tetsuya Matsuoka	World Journal of Emergency Surgery(Open Acces)	11		2016
8	CAN EARLY AGGRESSIVE ADMINISTRATION OF FRESH FROZEN PLASMA IMPROVE OUTCOMES IN PATIENTS WITH SEVERE BLUNT TRAUMA?—A REPORT BY THE JAPANESE ASSOCIATION FOR THE SURGERY OF TRAUMA	Akiyoshi Hagiwara, Shigeki Kushimoto, Hiroshi Kato, Junichi Sasaki, Hiroshi Ogura, Tetsuya Matsuoka, Toshifumi Uejima, Mineji Hayakawa, Munekazu Takeda, Naoyuki Kaneko, Daizoh Saitoh, Yasuhiro Otomo, Hiroyuki Yokota, Teruo Sakamoto, Hiroshi Tanaka, Atsushi Shiraishi, Naoto Morimura, and Hiroyasu Ishikura	SHOCK	45(5)	495-501	2016
9	Fibromuscular dysplasia presenting as hemorrhagic shock due to spontaneous rupture of a right gastroepiploic artery aneurysm	Mami Yamada, Taka-aki nakada, Koji Idoguchi, and Tetsuya Matsuoka	The American Journal of Emergency Medicine	34(3)	677e3 -677e5	2016

(2) 和文原著、総説、著書

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	Open abdomen management(OAM)の臨床—OAMに関する新知見—	渡部広明 水島靖明 松岡哲也	日本外科感染学会雑誌	12(3)	149-157	2015
2	Perihepatic packing の具体的手技	山本博崇 渡部広明 水島靖明 松岡哲也	Japanese journal of Acute Care Surgery		77-81	2015
3	搬送先選定困難例の個別検証および情報共有体制整備の有用性～たらい回しゼロを目指して～	中尾彰太 成田麻衣子 比良英司 勝原和博 松岡哲也	日臨救急医会誌(JJSEM)	18(3)	521-527	2015

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
4	Open abdomen management(OAM)の合併症予後に関する後ろ向き多施設共同研究	水島靖明 増永直久 吉川吉暁 藤見 聡 伊藤裕介 山添真志 小野真義 晋山直樹 岡 和幸 小川新史 池側 均 嶋津岳士	日本救急医学会雑誌(JJAAM)	26	116-124	2015
5	Perihepatic packing の具体的手技	山本博崇 渡部広明 水島靖明 松岡哲也	Japanese Journal of Acute Care Surgery		77-81	2015
6	Acute care surgery 修練カリキュラム	渡部広明	臨床雑誌「外科」	77(11)	1217-1222	2015
7	鈍的外傷患者の大量出血における予測因子の検討	後藤真耶子 水島靖明 松岡哲也	JJAAM(日本救急医学会雑誌)	26	670-675	2015
8	Open abdomen management (OAM)の合併症, 予後に関する後ろ向き多施設共同研究	水島靖明 増永直久 吉川吉暁 藤見 聡 伊藤裕介 山添 真志 小野真義 晋山直樹 岡 和幸 小川新史 池側 均 嶋津岳士	JJAAM(日本救急医学会雑誌)	26	116-124	2015
9	各論 I ;外傷 血管 IVR 骨盤外傷のIVR	白井亮介 井戸口孝二 水島靖明	救急医学	40(2)	171-177	2016
10	各論 疾病 Disaster related disease	松岡哲也	救急医学	40(3)	339-344	2016
11	IVこんな時、腹部エコーは役立つ！.役立たない？ 13.腹部外傷	成田麻衣子 井戸口孝二	一歩進んだ腹部エコーの使い方		223-230	2016
12	IVこんな時、腹部エコーは役立つ！.役立たない？ ミニレクチャー 血腫の見え方	成田麻衣子 井戸口孝二	一歩進んだ腹部エコーの使い方		231-234	2016
13	栄養療法がわかる！できる！	泉野浩生	レジデントノート増刊号	17(17)		2016
14	こんなときどうする？③～食べてくれないとき	泉野浩生	レジデントノート増刊号	17(17)	115-122	2016
15	DCS(damage control surgery)	井戸口孝二	外傷の術後管理のスタンダードはこれだ！		174-178	2016

(3) 国際学会報告

番号整理	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	ASSOCIATION OF MALE GENDER WITH INCRRTASED MORTALITY IN FALLS	T.nakada	16th European Congress of Trauma &Emergency Surgery	ポスター	2015.5.10-12
2	Surgical Strategy and Treatment for Trauma Course to Encourage Teamwork Development	Y.Mizushima	3rd Pan Pacific Trauma Congress	教育講演	2015.6.4
3	How to Early Detect and Resuscitate Severe Trauma Patients?	Hiroaki Watanabe	WFSICCM	シンポジウム	2015.8.30
4	N-butyl-2-cyanoacrylate embolization for emergency treatment of traumatic arterial hemorrhage	K.Idoguchi	CIRSE2015	ポスター	2015.9.26-30
5	Prehospital trauma care using Doctor's car	H Watanabe	2015 Ajou International Trauma Conference	その他の演題(特別講演、救急隊教育講演など)	2015.11.19
6	Evaluation of the Results of Abdomen Surveillance Culture in the Patients Undergoing Open Abdomen Management	N.Masunaga	ACEM2015	ポスター	2015.11.8
7	A retrospective,multicenter study on clinical outcomes after open abdomen management in Japan	Y.Mizushima	ACEM2015	口演	2015.11.8

(4) 国内学会報告

番号	整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1		JETECに基づく重症腹部外傷におけるDamage control surgery～どのようにすれば重症外傷を救命できるのか?～	渡部広明	第115回日本外科学会総会	シンポジウム	2015.4.16
2		外傷診療における血管内治療	井戸口孝二	第71回日本放射線技術学会	セミナー	2015.4.19
3		局所陰圧閉鎖療法が奏功した術後小腸瘻の一例	高山和之	第197回近畿外科学会	口演	2015.5.9
4		ICTを活用した救急搬送患者レジストリによる二次医療圏規模の病院前医療体制の把握	中尾彰太	第18回日本臨床救急医学会	パネルディスカッション	2015.6.5
5		自動胸骨圧迫装置を用いた心肺蘇生の有用性～CCFに注目した検討～	木村信広	第18回日本臨床救急医学会	口演	2015.6.5
6		実施基準に基づく評価による急性冠症候群の診断能の検証	上原健一	第18回日本臨床救急医学会	口演	2015.6.5
7		止血困難な脳静脈洞損傷を伴う重症頭部外傷に対する2期的手術:A Case Report	比良英司	第29回日本外傷学会	ポスター	2015.6.11
8		血小板輸血および血小板低下に対する予測因子の検討	石井健太	第29回日本外傷学会	口演	2015.6.11
9		外傷性四肢動脈損傷に対する血管内治療の現状	井戸口孝二	第29回日本外傷学会	口演	2015.6.11
10		騒音抑圧型聴診器の開発および屋外での外傷性気胸検出の試み	林 伸洋	第29回日本外傷学会	口演	2015.6.12
11		鈍的外傷に伴う鎖骨下動脈損傷に対し、緊急血管内治療を施工した一例	福間 博	第29回日本外傷学会	ポスター	2015.6.12
12		重症腹部外傷を救命するためには何をなすべきか?～蘇生のための出血コントロールと感染制御～	渡部広明	第29回日本外傷学会	外傷専門医育成のための教育セミナー	2015.6.12
13		Open abdomen management(OAM)における監視培養結果の検討	増永直久	第29回日本外傷学会	優秀演題セッション	2015.6.12
14		肝胆膵領域におけるダメージコントロール戦略とその戦術	渡部広明	第40回日本外科系連合学会	ワークショップ	2015.6.19
15		Acute Care Surgeryに必要な能力とそのトレーニングシステム	渡部広明	第70回日本消化器外科学会総会	ワークショップ	2015.7.15
16		ICTを用いた医師集合要請システム	中田孝明	第30回日本救急医学会総会	口演	2015.9.12
17		腹部外傷における腹腔鏡手術の適応～適切な外傷腹腔鏡手術の導入を目指して～	比良英司	第7回日本Acute Care Surgery学会	ワークショップ	2015.10.3
18		当院における鈍的腹部外傷の止血戦略～OpeとIVRどちらを優先するか～	中尾彰太	第7回日本Acute Care Surgery学会	パネルディスカッション	2015.10.3
19		大腸穿孔及び大腸虚血による重症腹膜炎に対しdamage control戦略を施行した症例の検討	増永直久	第7回日本Acute Care Surgery学会	口演	2015.10.3
20		二期的手術を行った大腸癌穿孔の2例	石井健太	第7回日本Acute Care Surgery学会	ポスター	2015.10.3
21		IIIb型肝損傷に合併した肝外肝管損傷に対して、経空腸的肝管ドレナージにより再建し救命し得た1例	成田麻衣子	第7回日本Acute Care Surgery学会	ポスター	2015.10.3
22		Acute Care Surgeryの教育に求められるもの	渡部広明	第7回日本Acute Care Surgery学会	シンポジウム	2015.10.4
23		Acute Care Surgeryカリキュラムにおける治療戦略決定とチームワーク構築トレーニング	渡部広明	第7回日本Acute Care Surgery学会	シンポジウム	2015.10.4
24		Open abdomen management(OAM)の合併症、予後に関する後ろ向き多施設共同研究	水島靖明	第43回日本救急医学会総会	フォーラムセッション	2015.10.21
25		栄養療法の実際～開始の基準, 栄養パスの導入に向けて～	泉野浩生	第43回日本救急医学会総会	ランチオンセミナー	2016.10.22
26		原因不明の脳梗塞を合併した小児眼窩弋創の一例	増永直久	第43回日本救急医学会総会	ポスター	2015.10.22

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
27	二次医療圏規模の救急医療体制を俯瞰するための救急搬送患者レジストリの運用	中尾彰太	第43回日本救急医学会総会	パネルディスカッション	2015.10.23
28	ベッド移動に伴いショックバイタルを呈した骨盤輪骨折患者の特徴	小野秀文	第43回日本救急医学会総会	口演	2015.10.21
29	当センターにおける細径大動脈遮断バルーンカテーテルの使用経験	成田麻衣子	第43回日本救急医学会総会	口演	2015.10.23
30	再増大を来した脳出血の4例ー再出血の危険因子についての考察ー	布施貴司	第43回日本救急医学会総会	口演	2015.10.21
31	外傷症例に特化したドクターカー覚知時出動システムの現状と課題～ドクターカー運用による不利益はないか～	福間 博	第10回日本病院前救急診療医学会	シンポジウム	2015.11.27
32	自動胸骨圧迫装置を用いた機械的CPRがCCFに与える影響に関する一考察	木村信広	第24回全国救急隊員シンポジウム	口演	2015.12.3
33	来院時凝固障害は重症鈍的外傷の独立した予後因子か？	石井健太	第43回日本集中治療医学会学術集会	口演	2016.2.12
34	出血傾向・舌の著明な腫脹を契機にビタミンK欠乏症を合併した後天性欠乏病Aと診断した1例	野間貴之	第43回日本集中治療医学会学術集会	ポスター	2016.2.13
35	Ⅲ度熱中症に対する血管内冷却カテーテルおよび体表冷却の比較	安念 優	第43回日本集中治療医学会学術集会	ポスター	2016.2.14
36	チーム医療と医療安全ーSSTTコースによるチームワークの構築ー	水島靖明	第9回日本医療マネジメント学会 大阪支部学術集会	ランチオンセミナー	2016.2.27
37	Acute Care Surgeon のためのチームマネジメント育成システム	比良英司	第52回日本腹部救急医学会総会	口演	2016.3.3
38	左胃動脈瘤破裂後に、短期間で急速な脾十二指腸動脈アーケードの瘤化を来したsegmental arterial mediolysisが疑われた1例	白井亮介	第52回日本腹部救急医学会総会	口演	2016.3.4
39	ジェットスキー事故による直腸・膣損傷の3例	菱川恭子	第52回日本腹部救急医学会総会	口演	2016.3.4
40	腹部外傷に対する当院の止血戦略～開腹とIVRは止血術の両輪だ～	林 伸洋	第52回日本腹部救急医学会総会	シンポジウム	2016.3.4
41	高位後腹膜血腫は開放すべきか？	福間 博	第52回日本腹部救急医学会総会	パネルディスカッション	2016.3.4

(5) 研究会・講演会

番号整理	演 題	発 表 者	研 究 会 名	年 月 日
1	IVR先行二期的血行再建術により救肢し得た外傷性膝窩動脈閉塞の1例	山田茉美	第59回関西INTERVENTIONAL RADIOLOGY研究会	2015.6.27
2	Open abdomen managementの合併症、予後に関する後ろ向き多施設共同研究	水島靖明	近畿救急局所陰圧閉鎖療法研究会	2015.7.7
3	胸骨圧迫後の肝損傷に対して、DCSを行い救命した1例	成田麻衣子	第112回近畿救急医学研究会	2015.7.11
4	外傷診療に求められる能力とは？	水島靖明	第3回Acute care surgeryフォーラム	2016.2.4
5	救命救急センターにおける外傷IVRの取り組み	井戸口孝二	関西IVR研究会(59回中部IVR研究会)	2016.2.13

(6) 学術講演・講義

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	Acute Care Surgeryとは何か？～救急医学、外科、集中治療が融合した新たな診療領域～	渡部広明	泉州地域医療フォーラム	2015.5.30
2	外傷初期診療のながれー時間を意識した治療戦略ー	井戸口孝二	平成27年度救急撮影講習会	2015.7.19
3	大阪府泉州圏における救急医療の現状	松岡哲也	泉州地域リハ懇話会	2015.7.25
4	外傷初期診療のながれー時間を意識した治療戦略ー	井戸口孝二	平成27年度救急撮影講習会	2015.8.2
5	外傷診療におけるIVRーチーム医療で救命するー	井戸口孝二	近畿救急撮影セミナー	2015.8.22
6	人における全身性炎症反応症候群の基礎と臨床	安達晋吾	日本獣医臨床病理学会 秋のシンポジウム	2015.10.4
7	大阪府統一版、傷病者の搬送と受入れの実施基準ーオリオンはなぜ必要かー	松岡哲也	大阪府下救急担当者会議	2015.10.16

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
8	重症外傷に対するIVR	井戸口孝二	仙台救急放射線フォーラム	2015.11.5

(7) 座長

番号整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	症例検討「一般救急・外傷症例」	井戸口孝二	第2回救急・外傷IVR症例検討会	2015.5.10
2	シンポジウム チーム医療への産画 ～診療放射線技師が今やるべきこと～	井戸口孝二 加藤光久	第18回日本臨床救急医学会	2015.6.4
3	一般口演 外傷診療体制1	松岡哲也	第29回日本外傷学会	2015.6.12
4	主題関連セッション28 パネルディスカッション1 救急医療を俯瞰して体制を構築する:メディカルコントロールの新たなあり方	渡部広明	第43回日本救急医学会総会	2015.10.23
5	口演 重症度評価 生体侵襲	松岡哲也	第43回日本救急医学会総会	2015.10.21
6	口演 腹部外傷2	水島靖明	第43回日本救急医学会総会	2015.10.21

研究業績：診療局 薬剤科

(1) 和文原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	社会に貢献する薬剤師をめざして	森朝紀文	大阪府病院薬剤師会雑誌	Vol.57, No.7	3	2015
2	病棟薬剤業務活動と実績	森朝紀文	大阪府病院薬剤師会雑誌	Vol.57, No.7	13-14	2015
3	薬薬連携における残薬調整による医療費削減効果の検討	森朝紀文	全国自治体病院学会雑誌	第55巻,3号	396-399	2016.03

(2) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	薬薬連携における残薬調整による医療費削減効果の検討	森朝紀文 中川直樹 泉原里絵 西井拓人 松山達登 中川貴弘	第54回全国自治体病院学会 in函館	ポスター	2015.10.08
2	地域連携病院における残薬調整による医療費削減効果の検討	森朝紀文 中川直樹 泉原里絵 西井拓人 松山達登 中川貴弘	第25回医療薬学会年会	ポスター	2015.11.22
3	地域連携病院における残薬調整による医療費削減効果の検討	森朝紀文 野上浩貢 南 尚孝 土井義仁 池喜 章 梅田卓也	第9回日本医療マネジメント 学会大阪支部学術集会	口演	2016.02.27
4	CMC含有ジメチルイソプロピルアズレン軟膏の調整と運用	河津敏明 森朝紀文 泉原里絵 西村亜希子 松浪美和 原 義浩 松山達登 服部 亮 高橋敏枝	第13回日本褥瘡学会近畿地 方会学術集会	ポスター	2016.03.13

(3) 学術講演・講義

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	薬に関する基礎知識	森朝紀文	大阪大学医療通訳養成コース	2015.07.11
2	当センター薬剤科業務の変遷	森朝紀文	泉佐野・泉南薬剤師会第182回合同勉強会	2015.09.17
3	ICT担当薬剤師業務について	泉原里絵	平成27年度第4回合同カンファレンス	2016.03.15

(4) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
1	大動脈解離	北庄司敦久	多職種カンファレンス	2015.8.26
2	経静脈栄養に用いる輸液の基礎	北庄司敦久	NST勉強会	2016.1.21
3	当センター薬剤科業務の変遷と地域連携病院による残薬調整	森朝紀文	多職種カンファレンス	2016.2.3
4	医薬品による事故をなくすために～過去の事例から学ぶ～	森朝紀文	医療安全講習会	2016.2.25

(5) 座長

番号整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	循環器チーム	森朝紀文	2015年度第1回チーム医療推進研修会(大阪府病院薬剤師会)	2015.6.18
2	感染領域におけるチーム医療の実践	森朝紀文	2015年度第3回チーム医療推進研修会(大阪府病院薬剤師会)	2016.3.11

研究業績：診療局 放射線技術科

(1) 和文原著、総説、著書

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	救急(頭部外傷, 頸部外傷, 胸腹部外傷, 外傷全身)	西池成章	放射線医療技術学叢書 X線CT撮影における標準化(改訂2版)	27	72-84	2015.9
2	X線CT撮影の標準化の改訂 救急撮影領域	西池成章	INNERVISION	30 (11)	15-19	2015.11
3	外傷全身CT撮影, 外傷診療における撮影の実際	横田順一郎 中島康雄 田中善啓 長岡 学 上野登喜生 米田 靖 藤村一郎 船曳知弘 一ノ瀬嘉明 山本浩司 近藤 誠 大島信二 坂下恵治 中田正明 土橋俊男 武井泰孝 五十嵐隆元 福田厚久	救急撮影ガイドライン改訂第2版		128-134 154-171	2016

(2) 国内学会報告

番号整理	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	Primary Survey, Secondary Surveyの CT撮影の現状と問題点	藤村一郎	第71回日本放射線技術学会総会 学術大会	口述	2015.4.18
2	バックボードのポジショニング位置が頭部CT撮影の画質に及ぼす影響	藤村一郎 西池成章 相良健司 坂下恵治	第18回日本臨床救急医学会	口述	2015.6.4
3	外傷チーム医療における 診療放射線技師の役割	藤村一郎 大保 勇 西池成章 相良健司 坂下恵治	第29回日本外傷学会	口述	2015.6.12
4	バックボード固定下頭部CT撮影におけるポジショニング位置が画質に及ぼす影響	藤村一郎 西池成章 相良健司 安永桂介 長谷川勝俊 坂下恵治	第3回CT技術学会	口述	2015.6.27
5	4ch Flex coilの巻き方による感度領域の違い	池本達彦	第43回日本磁気共鳴医学会大会	口述	2015.9.10
6	4ch小型フレキシブルコイルを用いた3D-TSEシーケンスでの折り返しアーチファクト低減による画像改善について	常玄大輔	第43回日本放射線技術学会秋季学術大会	口述	2015.10.10

(3) 研究会・講演会

番号整理	演題	発表者	研究会名	年月日
1	循環器領域の検査・治療における放射線技師の取り組み ～血管造影において～	中平修司	日本放射線技術学会近畿部会 夏期セミナー	2015.7.4
2	外傷全身CT撮影の技術的考察	西池成章	日本救急撮影技師認定機構 救急撮影講習会(with DIRCT 研究会)	2015.7.19
3	救急撮影領域の標準化について	西池成章	第19回CTサミット	2015.7.25
4	可搬媒体での画像連携～現状と課題～	小西康彦	医用画像管理セミナー長崎(日本医用画像管理学会)	2015.8.22
5	外傷患者のCT撮影ー病態に基づくアプローチ	西池成章	奈良CT Conference 第21回特別記念講演会	2015.9.12
6	電子カルテ端末におけるUSBの取り扱い	小西康彦	セキュリティセミナー大阪(日本医用画像管理学会)	2015.12.5
7	電子カルテ端末におけるUSBの取り扱い	小西康彦	セキュリティセミナー広島(日本医用画像管理学会)	2015.12.13
8	可搬媒体での画像連携～現状と課題～	小西康彦	医用画像管理セミナー三重(日本医用画像管理学会)	2016.2.14
9	外傷CT撮影における標準化の進化～GALACTIC2015とパンスキャン～	藤村一郎	第33回関西CT技術シンポジウム	2016.2.20
10	当院における脊椎MR検査のルーチン撮像について	常玄大輔	関西マグネトム研究会	2016.3.5
11	trauma DIAGNOSTを用いた初療撮影について	相良健司	第12回近畿救急撮影セミナー	2016.3.19

(4) 学術講演・講義

番号 整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	救命救急対応検査学	相良健司	大阪行岡医療専門学校長柄校放射線科講義	2015.4.16
2	外傷パンスキャンの技術的検討と撮影指針	西池成章	第71回日本放射線技術学会総会学術大会 技術活用セミナー	2015.4.19
3	X線CT撮影における標準化の構築 救急CT撮影の標準化	西池成章	第71回日本放射線技術学会総会学術大会 第64回放射線撮影専門部会 ワークショップ	2015.4.19
4	救命救急対応検査学	相良健司	大阪行岡医療専門学校長柄校放射線科講義	2015.4.23
5	救命医療論 2回目	藤村一郎	大阪物療大学 講義「救命救急医療論」	2015.4.24
6	救命医療論 3回目	藤村一郎	大阪物療大学 講義「救命救急医療論」	2015.4.24
7	救命救急対応検査学	相良健司	大阪行岡医療専門学校長柄校放射線科講義	2015.4.30
8	救命救急対応検査学	相良健司	大阪行岡医療専門学校長柄校放射線科講義	2015.5.7
9	救命救急対応検査学	相良健司	大阪行岡医療専門学校長柄校放射線科講義	2015.5.14
10	救命救急対応検査学	相良健司	大阪行岡医療専門学校長柄校放射線科講義	2015.5.21
11	救命医療論 6回目	藤村一郎	大阪物療大学 講義「救命救急医療論」	2015.5.22
12	救命救急医療論 一般撮影領域	西池成章	大阪物療大学講義	2015.5.29
13	救命救急医療論	相良健司	大阪物療大学保健医療学部講義	2015.6.8
14	救命救急医療論	相良健司	大阪物療大学保健医療学部講義	2015.6.12
15	救命救急医療論	相良健司	大阪物療大学保健医療学部講義	2015.6.19
16	救命救急医療論	相良健司	大阪物療大学保健医療学部講義	2015.6.26
17	救命救急医療論 一般撮影領域	西池成章	大阪物療大学講義	2015.7.17
18	救急におけるCT撮影と重症度について	藤村一郎	日本救急撮影技師認定機構主催 救急撮影講習会(with DIRCT研究会)(りんくう)	2015.7.19
19	救命救急医療論 一般撮影領域	西池成章	大阪物療大学講義	2015.7.24
20	外傷診療における救急撮影技術	藤村一郎	山口県診療放射線技師会 夏季講習会	2015.7.26
21	診療放射線技師 基礎技術講習 『MRI検査』	常玄大輔	大阪府診療放射線技師会	2015.7.26
22	救急におけるCT撮影と重症度について	藤村一郎	日本救急撮影技師認定機構主催 救急撮影講習会(with DIRCT研究会)(東京)	2015.8.2
23	診療放射線技師基礎技術講習 「撮影技術3」	中平修司	日本放射線技師会	2015.8.23
24	診療放射線技師基礎技術講習 「画像処理表示について」	中平修司	日本放射線技師会	2015.8.23
25	救急CT撮影と画像構築の実際	西池成章	公益社団法人日本放射線技術学会 平成27年度 第1回救急撮影セミナー(実践編)	2015.9.13
26	医用画像の管理について	小西康彦	公益財団法人医療研修推進財団 臨床実習施設指導者講習会	2015.10.2
27	救命救急医療における診療放射線技師の役割	相良健司	2015年度 島根県診療放射線技師会 秋季学術大会 第19回 Radtec Forum	2015.11.1
28	認定技師によるベストプラクティスな施設の紹介発表	藤村一郎	第2回X線CT認定技師更新講習会	2015.11.8
29	救急診療におけるCTの重要性と新たな展開	西池成章	2015年度第3回日本放射線技術学会 関東支部 CTGUMセミナー	2015.11.22
30	明日から役立つCTセミナー 「依頼に応える+αの画像とは？」	中平修司	大阪府放射線技師会	2015.12.2

(5) 院内研究活動

番号 整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
1	放射線被ばく低減について	安永桂介	放射線教育訓練(研修医及び新規採用者向け)	2015.4.7
2	放射線被ばく低減について	安永桂介	放射線教育訓練(被ばく管理バッジ配布者対象)	2015.4.23
3	MRI拡散強調画像について	池本達彦	放射線技師室カンファレンス	2015.4.24
4	大動脈解離に対する放射線技師の関わり	増田慎吾	多職種合同カンファレンス	2015.8.26
5	症例報告「妊娠21週。卵巣萎縮転疑い。」	安永桂介	放射線技師室カンファレンス	2015.9.26
6	外傷全身CT撮影の症例報告	藤村一郎	多職種カンファレンス	2016.2.18
7	TKA(膝の人工関節置換術)に対する放射線技師の関わり	増田慎吾	多職種合同カンファレンス	2016.3.29

(6) 座長

番号 整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	CT検査 胸部	西池成章	第71回日本放射線技術学会総会学術大会	2015.4.17

番号 整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年月日
2	第13回総会学術大会 会員発表	小西康彦 Park Myeong su(カトリック大学校ヨイド聖母病院)	日本医用画像管理学会 第13回総会学術大会	2015.4.26
3	パネルディスカッション 外傷全身撮影CTの問題点と適切な撮影に向けて	西池成章 船曳知弘(済生会横浜市東部病院 救命救急センター)	第17回日本臨床救急医学会総会・学術集会	2015.5.31
4	日本救急撮影技師認定機構 講習会	相良健司	第18回日本臨床救急医学会総会・学術集会	2015.6.6
5	特別講演「外傷診療におけるIVRチーム医療で救命する」	相良健司	第11回近畿救急撮影セミナー	2015.8.22
6	口演セッション「英語に慣れよう ～発音の基本フォニックス～」	池本達彦	メディカルスタッフのための実践英会話ワークショップThe 4th Avenue English Café	2015.10.24
7	デジタル画像学会、大韓医用映像管理学会、日本医用画像管理学会合同国際セッション	小西康彦 Park Myeong su(カトリック大学校ヨイド聖母病院)	第50回大韓放射線師学術大会	2015.10.31
8	コメディカル ポスターセッション	中平修司	CCT (Complex Cardiovascular Therapeutics) 2015	2015.10.31
9	CT画像によるアブレーション治療支援	中平修司	Osaka Heart Conference	2016.3.12

研究業績：診療局 臨床工学科

(1) 和文原著、総説、著書

番号 整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	TEVAR術後のペースメーカ植込み術に関して検討を要した1症例	中谷暁洋	第21回近畿臨床工学会発表論文集	KACET 2014	41-44	2015
2	臨床工学科20年を経過して 求められる臨床工学技士像と育成	河野栄治	全国自治体病院協議会雑誌	11月号	130-133	2015

(2) 国内学会報告

番号 整理	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	大阪府臨床工学技士会の活動紹介	奥田重之	大阪府臨床工学技士会 基礎教育セミナー	口演	2015.5.10
2	院内電子カルテLANを用いたICU血液浄化管理システム	中平大志	第25回日本臨床工学会	口演	2015.5.23
3	当院における災害対策の取り組みと臨床工学技士の関わり	中西 潤	第25回日本臨床工学会	口演	2015.5.23
4	ICUにおける透析管理システムの活用	三角定弘	第25回日本臨床工学会	口演	2015.5.24
5	ICUにおける透析管理システムの活用	奥田重之	第60回日本透析医学会学術集会	ポスター	2015.6.28
6	Bystander CPR が施行されなかったPCPS導入症例の神経学的予後についての検討	小谷哲也	第22回近畿臨床工学会	口演	2015.11.8
7	当院における心臓植込みデバイス患者に対する遠隔モニタリングシステムの有用性	吉田光海 中谷暁洋	第9回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	口演	2016.2.27

(3) 学術講演・講義

番号 整理	演題	発表者	学術講演会名	年月日
1	「AngioMentor」を用いたCRTデバイス植込み術のシミュレーション	中谷暁洋	Medtronic CRT植込み研修会	2015.10.24
2	「AngioMentor」を用いたペースメーカ植込み術のシミュレーション	中谷暁洋	Medtronic ペースメーカ植込み研修会	2016.3.16

(4) 院内研究活動

番号 整理	演題	発表者	研究活動名称	年月日
1	シリジポンプ・輸液ポンプ取扱を中心に	河野栄治	2015年新採用職員機器管理研修会	2015.4.10
2	HD,CHDFについて	小谷哲也	ICU,CCU病棟勉強会	2015.8.18
3	大動脈解離	中谷暁洋	多職種合同カンファレンス	2015.8.26
4	ペースメーカについて	中谷暁洋	ICU,CCU病棟勉強会	2015.10.22

番号整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
5	PCPSについて	小谷哲也	ICU.CCU病棟勉強会	2015.11.25
6	NO吸入療法について	小谷哲也	ICU.CCU病棟勉強会	2016.1.27
7	医療機器安全講習	河野栄治	医療安全講習	2016.2.25
8	心臓血管外科手術と人工心肺	中谷暁洋	多職種合同カンファレンス	2016.3.16

(5) 座長

番号整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	ランチョンセミナー「rSO2について」	中谷暁洋	第5回PUSCAR定例会	2015.6.21
2	Yボードシンポジウム「学生→臨床工学技士」をもう一度考えてみる～取り巻く環境ができること～	奥田重之	第22回近畿臨床工学会	2015.11.7
3	座談会「心臓植込みデバイス業務における臨床工学技士の役割」	中谷暁洋	Medtronic Expert Co-medical Conference	2015.12.19

研究業績：チーム医療 NST回診（栄養サポート委員会）

(1) 和文原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	低リン血症を呈した幼児十二指腸穿孔の1例	○正林大希 飯干泰彦 西谷暁子 宇治公美子 山村憲幸 藤井 仁 今里光伸 金 浩敏 位藤俊一 伊豆蔵正明	日本小児外科学会雑誌	51	1168-1172	2015

(2) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	低リン血症を呈した幼児十二指腸穿孔の1例	○正林大希 飯干泰彦 西谷暁子 宇治公美子 山村憲幸 藤井 仁 今里光伸 金 浩敏 位藤俊一 伊豆蔵正明	日本小児外科学会学術集会(52)	ポスター	2015.5.28-30

研究業績：共同運営部門 感染症センター

(1) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	エボラ出血熱疑い例として対応した西アフリカからの渡航者における熱帯熱マラリアの2例	関 雅之 葛城有希子 木下真孝 三島伸介 入交重雄 倭 正也	第112回日本内科学会総会・講演会 医学生・研修医の日本内科学会ことはじめ 2015 京都	ポスター	2015.4.11
2	エボラウイルス病 当院での疑似症例の体験とアメリカ研修報告～今後の感染対策にどう生かすか～	山内真澄	第60回日本集中治療医学会 近畿地方会	口演	2015.7.4
3	西日本における海外からの輸入感染症とその対応	倭 正也	日本旅行医学会第2回関西感染症・ワクチンセミナー	口演	2015.10.4
4	エボラ出血熱疑い例として対応した西アフリカからの渡航者における熱帯熱マラリアの2例	関 雅之 木下真孝 三島伸介 倭 正也	第85回日本感染症学会西日本地方会学術集会	口演	2015.10.16
5	シンポジウム16 新興再興感染症の最新情報 エボラウイルス病 当院での疑似症例の体験を踏まえて～今後の感染対策にどう生かすか～	山内真澄	第31回日本環境感染学会総会・学術集会	シンポジウム口演	2016.2.19
6	シンポジウム14 救急分野での感染対策 救急分野における感染対策の重要性と課題	倭 正也	第31回日本環境感染学会総会・学術集会	シンポジウム口演	2016.2.19

(2) 学術講演・講義

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	エボラ出血熱の現状と医療現場から見てきた課題	倭 正也	阪神地区感染症懇話会	2015.6.12
2	MERS対応について	倭 正也	大阪府MERSにかかるとの連絡会	2015.6.16
3	『重症感染症における治療と薬剤選択～エボラ・MERS・新型インフルエンザを中心に～』	倭 正也	大阪府病院薬剤師会第17支部研修会	2015.12.1
4	エボラ出血熱に対する国内対応	倭 正也	大阪市立総合医療センター感染症研修会	2016.2.12
5	新興・再興感染症	倭 正也	大阪医科大学衛生学・公衆衛生学講義	2015.2.25
6	中東呼吸器症候群(MERS)	倭 正也	市立豊中病院:中東呼吸器症候群(MERS)に関する研修会	2016.3.8
7	最近話題の輸入感染症(エボラ出血熱、MERSなど)について	倭 正也	大阪府医師会医学会学術講演会	2015.3.31

(3) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
1	エボラ出血熱疑い例として対応した西アフリカからの渡航者における熱帯熱マラリアの2例	関 雅之	第180回臨床集談会	2015.5.11
2	エボラウイルス病 当院での疑似症例の体験とアメリカ研修報告～今後の感染対策にどう生かすか～	山内真澄	2015年度感染症センター運営委員会 研修会	2015.5.13 2015.6.2
3	中東呼吸器症候群(MERS) ～韓国での感染拡大を受けて～	倭 正也	2015年度院内感染対策研修会、感染症センター運営委員会研修会	2015.6.8 2015.6.11
4	新型インフルエンザに対するわが国の行動計画・治療指針	倭 正也	2015年度りんくうカンファレンス	2015.7.16
5	知ってますか？昨今、話題の感染症について～デング熱、エボラ出血熱、MERS、新型インフルエンザ～	倭 正也	2015年度りんくう総合医療センター市民健康講座	2015.7.18

(4) 座長

番号整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	医学生・研修医の「日本内科学会ことはじめ」感染症3	倭 正也	第112回日本内科学会総会・講演会2015京都	2015.4.11
2	感染症1	倭 正也	第208回日本内科学会近畿地方会	2015.6.27
3	一般口演3	三島伸介	第19回日本渡航医学会学術集会	2015.7.26
4	一般演題 井手亮太先生 特別演題 松田直之先生	倭 正也	敗血症治療セミナー	2016.3.25

研究業績：共同運営部門 中央検査部

(1) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	シンポジウム「臨床検査技師が取り組む新たな医療」救命救急センターにおける臨床検査技師の役割	福岡京子	第64回日本医学検査学会	口演	2015.5.16
2	乳癌術後晩期再発により消化管狭窄をきたした1例	中村雅美	日本超音波医学会 第88回学術集会	口演	2015.5.22
3	胆嚢癌との鑑別が困難であった黄色肉芽腫性胆嚢炎の1例	中村雅美	日本超音波医学会 第42回関西地方会	口演	2015.9.26
4	ICTラウンドにおけるカンジダ菌血症への取り組み	須合恵美	第85回日本感染症学会 西日本地方会	口演	2015.10.16
5	シンポジウム「救急初期診療における臨床検査」意識障害における病態把握と原因検索「薬物分析」	福岡京子	第55回日臨技近畿支部 医学検査学会	口演	2015.10.18

(2) 学術講演・講義

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	骨髓像の見方	米本隆浩	血液形態ジュニア	2015.6.12
2	MDS/MPNの1症例	米本隆浩	血液標本検討会	2015.10.15
3	臨床検査総論	三ノ浦保彦	泉佐野泉南医師会看護学校	2015.11.11
4	一般検査	田川次郎	泉佐野泉南医師会看護学校	2015.11.18
5	血液学的検査	米本隆浩	泉佐野泉南医師会看護学校	2015.11.25

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
6	輸血検査について	宮本志保	多職種合同勉強会	2015.11.28
7	化学・免疫学的検査	坂本秀行	泉佐野泉南医師会看護学校	2015.12.2
8	生理機能検査	中村雅美	泉佐野泉南医師会看護学校	2016.1.6
9	病理・ホルモン学的検査	小島義忠	泉佐野泉南医師会看護学校	2016.1.13
10	微生物学的検査	須合恵美	泉佐野泉南医師会看護学校	2016.1.20
11	栄養アセスメントに必要な臨床検査値	田川次郎	第22回泉州地区NST研究会	2016.3.5

(3) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
1	「肺癌(小細胞癌)症例」	今北正美	CPC	2015.5.13
2	「心臓超音波検査」	栄川智子	7山新人ナース勉強会	2015.7.2
3	「特発性心筋症(拡張相肥大型)症例」	今北正美	CPC	2015.7.15
4	「大動脈解離症例」	中村雅美	第1回多職種カンファレンス定例会	2015.8.26
5	「心臓超音波検査」	栄川智子	7山新人ナース勉強会	2015.9.16
6	「重症熱傷症例」	今北正美	CPC	2015.9.16
7	「大動脈瘤症例」	今北正美	CPC	2015.11.18
8	「急性リンパ芽球性白血病症例」	今北正美	CPC	2016.1.20
9	「急性骨髄性白血病(M5a)症例」	今北正美	CPC	2016.2.17
10	「心エコーの結果により負荷心電図が中止になった症例」	栄川智子	多職種カンファレンス	2016.3.2
11	「悪性黒色腫症例」	今北正美	CPC	2016.3.16
12	「全人工膝関節置換術症例」	中村雅美	第2回多職種カンファレンス定例会	2016.3.29

研究業績：共同運営部門 ICU/CCU 部

(1) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学会名	発表形式	年 月 日
1	「心臓血管手術後の抜管に至った患者の抜管遅延に影響を及ぼす要因」	松裏 豊 中原 薫 松本有希 田井寿美礼	第9回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	口演	2016.2.27

研究業績：共同運営部門 <周産期センター>産科医療センター

(1) 英文原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	Etiology of Ascites and Pleural Effusion Associated with Ovarian Tumors:Literature Review and Case Reports of Three Ovarian Tumors Presenting with Massive Ascites, but without Peritoneal Dissemination	Ai Miyoshi, Takashi Miyatake, Takeya Hara, Asuka Tanaka, Naoko Komura, Shinnosuke Komiya, Serika Kanao, Masumi takeda, Mayuko Mimura, Masaaki Nagamatsu, and Takeshi Yokoi	Case Reports in Obstetrics and Gynecology		doi.10.1 155	2015
2	Highly Elevated Level of Serum CA125 Produced by a Large Uterine Leiomyoma in a 20-Year-Old Woman	Ai Miyoshi, Takashi Miyatake, Shinnosuke Komiya, Mayuko Mimura, Masaaki Nagamatsu, and Takeshi Yokoi	Journal of Clinical Gynecology and Obstetrics	4(3)	275-278	2015

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
3	Incidence and risk factors for recurrent spontaneous preterm birth: A retrospective cohort study in Japan.	Michiko Yamashita, Shusaku Hayashi, Masayuki Endo, Kentaro Okuno, <u>On Fukui</u> , Kazuya Mimura, Yosuke Tachibana, Keisuke Ishii, Nobuaki Mitsuda, and Tadashi Kimura	The journal of obstetrics and gynecology research	41 (11)	1708 -1714 PMID: 26311118 doi: 10.1111	2015
4	Rare Primary Adenocarcinoma of the Broad Ligament: Report of Two Cases and a Literature Review	Ai Miyoshi, Takashi Miyatake, Takeya Hara, Shinnosuke Komiya, Asuka Tanaka, Serika Kanao, Masumi Takeda, Mayuko Mimura, Masaaki Nagamatsu, Masaru Yamasaki, and Takeshi Yokoi	International Journal of Surgical Pathology	23(8)	pii: 10668969 15622690	2015
5	Cinical Significance of Atypical Squamous Caell of Undertermind Significance among Patients Undergoing Cervical Conization	<u>Mai Nishimura</u> , Takeshi Miyatake, <u>Ayaka Nakashima</u> , Ai Miyoshi, Mayuko Mimura, Masaaki Nagamatsu, <u>Kazuhide Ogita</u> , and Takeshi Yokoi	Asian Pacific journal of cancer prevention:APJP	16 (18)	8145 -8157 PMID: 26745052	2015
6	Increased Spot Urinary Protein-to-Creatinine Ratio Can Be a Useful Predictor of Preeclampsia	<u>Mai Nishimura</u> , <u>Ayaka Nakashima</u> , <u>Takuya Kushimoto</u> , <u>Mayako Goto</u> , <u>Susumu Yoshida</u> , <u>Osamu Sato</u> , <u>Kayoko Shikado</u> , and <u>Kazuhide Ogita</u>	Open Journal of Obstetrics and Gynecology		808 -812 doi: 10.4236	2015

(2) 和文原著、総説、著書

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	複式子宮全摘と膣式子宮全摘出の組織侵襲に関する検討	海野ひかり 橋本洋之 山崎瑠璃子 竹田満寿美 宮武 崇 長松正章 横井 猛	産婦人科の進歩	67(1)	1-6	2015
2	徒然日記	荻田和秀	臨床助産ケア スキルの強化	(1)-7(5)		2015
3	子宮奇形合併妊娠21例に対する周産期合併症の検討	甲村奈緒子 荻田和秀 後藤摩耶子 張 良実 吉田 晋 佐藤 敦 福井 温 鹿戸佳代子	産婦人科の実際	64(3)	31-34	2015
4	薬についての指導	西村真唯 荻田和秀	『臨床婦人科産科』 妊産婦検診のすべて 週数別・大事なことを見逃さないためのチェックポイント	69(4)	30-35	2015
5	Herlyn-Werner症候群に対して腹腔鏡下患側子宮摘出術を行い月経困難症状が軽快した1症例	串本卓哉 橋村茉莉子 竹田満寿美 玉田 将 紺谷佳代 三好 愛 宮武 隆 三村真由子 長松正章 横井 猛	日本産科婦人科内視鏡学会雑誌	31(1)	199-202	2015

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
6	産科救急の特殊性 妊婦外傷への対応	後藤摩耶子 荻田和秀 松岡哲也	産婦人科の実際	64(9)	1161-1167	2015
7	特集 周産期救急システム-現状と その対応 疾患・病態別の周産期救 急:産科編 妊産婦外傷への対応	後藤摩耶子 荻田和秀 松岡哲也	周産期医学	45(9)	1263-1269	2015
8	嫁ハンをいてわってやりたい ダンナのための妊娠出産読本	荻田和秀	嫁ハンをいてわってやりた い ダンナのための妊娠 出産読本	ISBN: 978-4-06- 27291-0	176	2015

(3) 国際学会報告

番号整理	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	An Investigation on Clinical Significance of Atypical Squamous Cells of Undetermined Significance among Patients who were Underwent Cervical Conization	<u>Mai Nishimura</u> , <u>Ayaka Nakashima</u> , Mariko Hashimura, Masaaki Sawada, Masaru Tamada, Ai Miyoshi, Mayuko Mimura, Takashi Miyatake, Masaaki Nagamatsu, <u>Kazuhide Ogita</u> , and Takeshi Yokoi.	AOCOG 2015 24th Asian & Oceanic Congress of Obstetrics & Gynaecology	Poster	2015.6.5
2	An increase in spot urinary protein-to-creatinine ratio can be an useful predictor of preeclampsia	<u>Mai Nishimura</u> , <u>Ayaka Nakashima</u> , Naoko Koumura, <u>Takuya Kushimoto</u> , Shinnosuke Komiya, <u>Takahide Maenaka</u> , <u>Mayako Goto</u> , <u>Susumu Yoshida</u> , <u>Osamu Sato</u> , <u>Kayoko Shikado</u> , and <u>Kazuhide Ogita</u>	FIGO 2015 第21回世界産科婦人科学会議	Oral	2015.10.7
3	Two case of Interventional radiology (IVR) on the palliative care in gynecologic malignancies	Masumi Takeda, Takeya Hara, Naoko Komura, Asuka Tanaka, Shinnosuke Komiya, Serika Kanao, Ai Miyoshi, Takashi Miyatake, Mayuko Mimura, Masaaki Nagamatsu, and Takeshi Yokoi	The 4th Biennial Meeting of Asian Society of Gynecologic Oncolog	Poster	2015.11.14
4	A case of primary clear cell adenocarcinon	Naoko Komura, Masumi Takeda, Takeya Hara, Asuka Tanaka, Shinnosuke Komiya, Serika Kanao, Ai Miyoshi, Takashi Miyatake, Mayuko Mimura, Masaaki Nagamatsu, and Takeshi Yokoi	The 4th Biennial Meeting of Asian Society of Gynecologic Oncolog	Poster	2015.11.14

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
5	Three case reports of stage I borderline ovarian tumors accompanied massive ascites	Ai Miyoshi, Masumi Takeda, Takeya Hara, Naoko Komura, Asuka Tanaka, Shinnosuke Komiya, Serika Kanao, Takashi Miyatake, Mayuko Mimura, Masaaki Nagamatsu, and Takeshi Yokoi	The 4th Biennial Meeting of Asian Society of Gynecologic Oncolog	Poster	2015.11.14
6	Two Cases of Complete Hydatidiform Mole, Occurred in Perimenopausal Women	Serika Kanao, Masumi Takeda, Takeya Hara, Naoko Komura, Asuka Tanaka, Shinnosuke Komiya, Ai Miyoshi, Takashi Miyatake, Mayuko Mimura, Masaaki Nagamatsu, and Takeshi Yokoi	The 4th Biennial Meeting of Asian Society of Gynecologic Oncolog	Poster	2015.11.14
7	Clinical investigation on the impact of censored cases to the survival probability of gynecological cancer	Takashi Miyatake, Masumi Takeda, Takeya Hara, Naoko Komura, Asuka Tanaka, Shinnosuke Komiya, Serika Kanao, Ai Miyoshi, Mayuko Mimura, Masaaki Nagamatsu, and Takeshi Yokoi	The 4th Biennial Meeting of Asian Society of Gynecologic Oncolog	Poster	2015.11.14

(4) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	子宮摘出後膣断端からの卵管脱に関する、後方視的検討	竹田満寿美 甲村奈緒子 小宮慎之介 串本卓哉 玉田 将 三好 愛 紺谷佳代 宮武 崇 三村真由子 荻田和秀 長松正章 横井 猛	日本産科婦人科学会 第67回学術講演会	ポスター	2015.4.10
2	当院における子宮癌肉腫16例についての検討	甲村奈緒子 小宮慎之介 串本卓哉 竹田満寿美 玉田 将 紺谷佳代 三好 愛 宮武 崇 三村真由子 荻田和秀 長松正章 横井 猛	日本産科婦人科学会 第67回学術講演会	ポスター	2015.4.11
3	大量腹水を伴う初期の境界悪性卵巣腫瘍の3症例	三好 愛 小宮慎之介 甲村奈緒子 串本卓哉 竹田満寿美 玉田 将 紺谷佳代 宮武 崇 三村真由子 荻田和秀 長松正章 横井 猛	日本産科婦人科学会 第67回学術講演会	ポスター	2015.4.11
4	婦人科癌における、観察中止例が予後、生存率へ与える影響の検討	宮武 崇 小宮慎之介 甲村奈緒子 串本卓哉 玉田 将 紺谷佳代 竹田満寿美 三好 愛 三村真由子 荻田和秀 長松正章 横井 猛	日本産科婦人科学会 第67回学術講演会	ポスター	2015.4.11

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
5	子宮筋腫を疑い手術中に診断された Gastrointestinal Stromal Tumor (GIST) の1例	串本卓哉 甲村奈緒子 小宮慎之介 竹田満寿美 玉田 将 三好 愛 紺谷佳代 宮武 崇 三村真由子 荻田和秀 長松正章 横井 猛	日本産科婦人科学会 第67回学術講演会	ポスター	2015.4.11
6	当院での緊急子宮弛緩に対するニトログリセリン使用についての検討	中島文香 西村真唯 甲村奈緒子 串本卓哉 後藤摩耶子 張 良実 吉田 晋 佐藤 敦 福井 温 鹿戸佳代子 荻田和秀	日本産科婦人科学会 第67回学術講演会	ポスター	2015.4.11
7	大阪府における最重症妊産婦症例の調査報告	金川武司 荻田和秀 橘 大介 笠松 敦 島岡昌生 吉松 淳 竹村昌彦 中本 收 野々垣多加史 幸田信明 高木 哲 木村 正	日本産科婦人科学会 第67回学術講演会	ポスター	2015.4.11
8	当院における死戦期帝王切開への取り組み～症例検討とこれからの課題～	後藤摩耶子 西村真唯 中島文香 澤田真明 橋村茉莉子 張 良実 吉田 晋 佐藤 敦 福井 温 鹿戸佳代子 荻田和秀	日本産科婦人科学会 第67回学術講演会	ポスター	2015.4.11
9	30分以上の心肺停止症例に死戦期帝王切開術施工し母児ともに救命した1例	澤田真明 後藤摩耶子 中島文香 西村真唯 橋村茉莉子 張 良実 吉田 晋 佐藤 敦 福井 温 鹿戸佳代子 横井 猛 荻田和秀	日本産科婦人科学会 第67回学術講演会	ポスター	2015.4.11
10	手術室満室の際の分娩室における超緊急帝王切開術施行の試み	福井 温 橋村茉莉子 澤田真明 西村真唯 中島文香 後藤摩耶子 張 良実 吉田 晋 佐藤 敦 鹿戸佳代子 荻田和秀	日本産科婦人科学会 第67回学術講演会	ポスター	2015.4.11
11	当院における広汎性子宮頸部摘出術後妊娠3症例の検討	吉田 晋 西村真唯 中島文香 澤田真明 橋村茉莉子 後藤摩耶子 張 良実 佐藤 敦 福井 温 鹿戸佳代子 荻田和秀 横井 猛	日本産科婦人科学会 第67回学術講演会	ポスター	2015.4.12
12	The variation in protein.creatinine ratio of normotensive pregnant women	Mai Nishimura, Ayaka Nakashima, Masaaki Sawada, Mayako Goto, Yang Sil Chang, Susumu Yoshida, Osamu Sato, On Fukui, Kayoko Shikado, and Kazuhide Ogita	日本産科婦人科学会 第67回学術講演会	ポスター	2015.4.10
13	当院でのTLHにおける工夫	三好 愛 原 武也 中島文香 甲村奈緒子 田中あすか 金尾世里加 竹田満寿美 三村真由子 宮武 崇 長松正章 横井 猛	大阪大学関連 第7回内視鏡手術研究会	口演	2015.4.24

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
14	当科における細胞診ASC-USで円錐切除術の適応となった症例についての検討	西村真唯 中島文香 橋村茉莉子 澤田真明 竹田満寿美 玉田 将 三好 愛 三村真由子 宮武 崇 長松正章 荻田和秀 横井 猛	第132回近畿産科婦人科学会 学術集会	口演	2015.6.27
15	長期生存を認めた遠隔転移を伴う子宮体部原発小細胞癌の1例	澤田真明 松崎慎哉 吉田 晋 小宮慎之介 甲村奈緒子 串本卓哉 後藤摩耶子 張 良実 佐藤 敦 福井 温 鹿戸佳代子 横井 猛 荻田和秀	第132回近畿産科婦人科学会 学術集会	口演	2015.6.27
16	卵巣腫瘍と識別が困難であった39.1kgの巨大子宮筋腫の1例	中島文香 三村真由子 西村真唯 橋村茉莉子 澤田真明 竹田満寿美 玉田 将 三好 愛 宮武 崇 長松正章 荻田和秀	第132回近畿産科婦人科学会 学術集会	口演	2015.6.27
17	卵巣腫瘍と診断して手術を行い大網に成熟嚢胞性奇形腫を認めた1例	橋村茉莉子 西村真唯 中島文香 澤田真明 竹田満寿美 三好 愛 玉田 将 宮武 崇 三村真由子 長松正章 荻田和秀 横井 猛	第132回近畿産科婦人科学会 学術集会	口演	2015.6.27
18	術前に診断しえた広間膜内悪性腫瘍の一例	原 武也 三好 愛 小宮慎之介 田中あすか 甲村奈緒子 金尾世里加 竹田満寿美 宮武 崇 三村真由子 長松正章 横井 猛	第37回大阪大学産婦人科 オープンクリニカルカンファレンス	口演	2015.7.4
19	妊娠高血圧症候群患者の尿タンパククレアチニン比と24時間尿タンパク定量検査の結果についての検討	西村真唯 中島文香 橋村茉莉子 澤田真明 甲村奈緒子 串本卓哉 後藤摩耶子 吉田 晋 佐藤 敦 福井 温 鹿戸佳代子 荻田和秀	第51回周産期・新生児医学会 学術集会	ポスター	2015.7.10-12
20	産褥出血に対してBakuriバルーンによる子宮内バルーンタンポナーデ法を行った26例の検討	甲村奈緒子 小宮慎之介 串本卓哉 後藤摩耶子 張 良実 吉田 晋 佐藤 敦 福井 温 鹿戸佳代子 荻田和秀	第51回周産期・新生児医学会 学術集会	口演	2015.7.11
21	当院における死戦期帝王切開への取り組み～症例検討とこれからの課題～	後藤摩耶子 甲村奈緒子 串本卓哉 張 良実 吉田 晋 佐藤 敦 福井 温 鹿戸佳代子 荻田和秀	第51回周産期・新生児医学会 学術集会	口演	2015.7.11
22	当院における内腸骨動脈バルーン導入前後での前置胎盤症例の検討	串本卓哉 甲村奈緒子 後藤摩耶子 吉田 晋 佐藤 敦 鹿戸佳代子 荻田和秀	第51回周産期・新生児医学会 学術集会	ポスター	2015.7.11
23	帝王切開術後に膀胱子宮瘻を発症したが、外科治療せずに完治した一例	吉田 晋 小宮慎之介 甲村奈緒子 串本卓哉 後藤摩耶子 張 良実 佐藤 敦 福井 温 鹿戸佳代子 荻田和秀 横井 猛	第51回周産期・新生児医学会 学術集会	ポスター	2015.7.11

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
24	閉経期に発生した胞状奇胎の2症例	宮武 崇 西村真唯 中島文香 澤田真明 橋村茉莉子 竹田満寿美 玉田 将 三好 愛 三村真由子 長松正章 横井 猛	第57回日本婦人科腫瘍学会学術講演会	ポスター	2015.8.7
25	当院における、Radical Trachelectomy (RT) 術後患者妊娠予後の検討	小宮慎之介 宮武 崇 西村真唯 中島文香 澤田真明 橋村茉莉子 竹田満寿美 玉田 将 三好 愛 三村真由子 長松正章 横井 猛	第57回日本婦人科腫瘍学会学術講演会	ポスター	2015.8.7
26	術前卵巣癌が疑われた広間膜内腫瘍の1例	三好 愛 中島文香 西村真唯 澤田真明 橋村茉莉子 玉田 将 三村真由子 宮武 崇 長松正章 横井 猛	第57回日本婦人科腫瘍学会学術講演会	ポスター	2015.8.8
27	術前化学療法としてTP療法が奏効し完全摘出しえた子宮頸部小細胞癌1症例	三村真由子 中島文香 西村真唯 橋村茉莉子 澤田真明 竹田満寿美 玉田 将 三好 愛 宮武 崇 長松正章 横井 猛	第57回日本婦人科腫瘍学会学術講演会	ポスター	2015.8.8
28	当院におけるTLHの際の基靭帯処理の工夫について	三好 愛 原 武也 中島文香 甲村奈緒子 田中あすか 金尾世里加 竹田満寿美 三村真由子 宮武 崇 長松正章 横井 猛	第55回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	口演	2015.9.10
29	当院における子宮筋腫に対するTLHの検討	小宮慎之介 宮武 崇 原 武也 甲村奈緒子 田中あすか 金尾世里加 竹田満寿美 三好 愛 三村真由子 長松正章 横井 猛	第55回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	ポスター	2015.9.11
30	TLHでの経膈回収時に発生した膀胱・尿管損傷の一例	三村真由子 原 武也 田中あすか 甲村奈緒子 小宮慎之介 金尾世里加 竹田満寿美 三好 愛 宮武 崇 長松正章 横井 猛	第55回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	口演	2015.9.11
31	腹腔鏡手術にて治療し得た大網成熟嚢胞性奇形腫の一例	宮武 崇 原 武也 小宮慎之介 甲村奈緒子 田中あすか 金尾世里加 竹田満寿美 三好 愛 三村真由子 長松正章 横井 猛	第55回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	口演	2015.9.11
32	当院における腹腔鏡下子宮体癌根治術の工夫について	横井 猛 原 武也 小宮慎之介 田中あすか 甲村奈緒子 金尾世里加 竹田満寿美 三好 愛 宮武 崇 長松正章	第55回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	口演	2015.9.12
33	尿タンパク、クレアチニン比の上昇は妊娠高血圧腎症発症の予測因子となり得る	西村真唯 河田真由子 藤川恵理 中島文香 串本卓哉 前中隆秀 北井俊大 荻田和秀	第36回日本妊娠高血圧学会	口演	2015.9.12
34	子宮筋腫との識別が困難であった広間膜内悪性腫瘍の一例	原 武也	第13回泉州広域母子医療センター症例検討会	口演	2015.9.19
35	当院における子宮筋腫、子宮体癌に対するTLHの適応および現状での治療成績	田中あすか	第13回泉州広域母子医療センター症例検討会	口演	2015.9.19

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
36	当院で経験した死戦期帝王切開2例についての考察	荻田和秀	第1回ALSO-Japan	口演	2015.9.26
37	当院における産科大量輸血症例の検討～産科におけるなFFR,RCC比とは～	後藤摩耶子 水島靖明 荻田和秀 松岡哲也	第43回日本救急医学会総会・学術集会	口演	2015.10.22
38	当院におけるbevacizumab使用症例の後方視的検討	小宮慎之介 宮武 崇 原 武也 田中あすか 甲村奈緒子 金尾世里加 竹田満寿美 三好 愛 三村真由子 長松正章 横井 猛	第133回近畿産科婦人科学会学術集会	口演	2015.10.25
39	婦人科癌における、観察中止例が生存率へ与える影響の検討	宮武 崇 原 武也 小宮慎之介 甲村奈緒子 田中あすか 金尾世里加 竹田満寿美 三好 愛 三村真由子 長松正章 横井 猛	第53回日本癌治療学会学術集会	ポスター	2015.10.29
40	子宮筋腫に対する単純子宮全摘後に筋膜下膿瘍を来し再手術となった一例	原 武也 三好 愛 小宮慎之介 田中あすか 甲村奈緒子 金尾世里加 竹田満寿美 宮武 崇 三村真由子 長松正章 横井 猛	第38回大阪大学産婦人科 オープンクリニカルカンファレンス	口演	2015.10.31
41	当院における子宮筋腫に対する術式の後方視的検討	小宮慎之介 宮武 崇 原 武也 甲村奈緒子 田中あすか 金尾世里加 竹田満寿美 三好 愛 三村真由子 長松正章 横井 猛	第38回日本産婦人科手術学会	口演	2015.11.29

(5) 研究会・講演会

番号整理	演 題	発 表 者	研 究 会 名	年 月 日
1	「死戦期帝王切開」	荻田和秀	第10回国立循環器病研究センター 周産期サマーセミナー	2015.8.8
2	実践報告「特定妊婦への支援における保健・福祉・医療の連携」	荻田和秀	子どもの虹情報研修センター	2015.8.27
3	演題「高次施設における周産期救急」	荻田和秀	第14回京都救急医療研究会講演	2015.11.7
4	演題「妊産婦の包括支援」	荻田和秀	和歌山周産期ネットワーク協議会	2015.11.21
5	講義「社会的経済的リスクを抱える妊婦に対する医療機関の関わり」	荻田和秀	大阪府立大学 地域保健学域 看護学類 地域看護学分野	2015.11.26
6	演題「『コウノドリ』モデルが語る誕生秘話」	荻田和秀	厚生労働省風しん啓発セミナー	2015.12.8

(6) 学術講演・講義

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	特別講義「看護にいかず疾病論II(急性)」	吉田 晋	関西医療大学	2015.7.21-22

(7) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
1	女性の腹痛	小宮慎之介	第186回臨床集談会	2015.11.26

(8) 座長

番号整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	ポスターセッション「胎盤・羊水4」	荻田和秀	第51回周産期・新生児医学会	2015.7.11
2	産科症例	荻田和秀	第13回泉州広域母子医療センター症例検討会	2015.9.19

研究業績：共同運営部門 <周産期センター>新生児医療センター

(1) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	環境湿度と晩期循環不全の検討	和田芳郎 今西洋介 左 信哲 寺村崇哉 山本昌周 住田 裕	第60回日本新生児成育医療学会	口演	2015.10.24

研究業績：共同運営部門 リハビリテーションセンター

(1) 和文原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	レッドコードを用いた間接的振動刺激の特性について～周波数, 加速度に着目して～	小委武陸 正木忠生 川畑拓也 鈴木順一 山川雅史 藤野文崇	レッドコード・サイエンス	3 (1)	9～19	2015
2	THA患者に対する腹臥位でのアプローチは有効か	藤野文崇 大野直紀	近畿理学療法学会誌	44		2015
3	人工股関節置換術後における動作分析	大野直紀 上杉雅之 西守 隆 金井一暁 長谷川 治 松井知之 東 善一 甲斐義浩 藤野文崇 貴志悠矢 後藤 誠 藤井 瞬 吉田隆紀 谷埜予士次 笹井美伽 田中健一 小委武陸 高木啓至 佐野久実 森本剛史 山本義隆 小澤明人 溝端良太 濱本 学 松島哲弥 餅越竜也 大谷啓尊 沖西正圭 椰野浩司 丸岡 隆 高取克彦	動作のメカニズムがよくわかる 実践！動作分析		119-123	2016
4	人工膝関節置換術後における動作分析	藤野文崇 貴志悠矢 上杉雅之 西守 隆 金井一暁 長谷川 治 松井知之 東 善一 甲斐義浩 大野直紀 後藤 誠 藤井 瞬 吉田隆紀 谷埜予士次 笹井美伽 田中健一 小委武陸 高木啓至 佐野久実 森本剛史 山本義隆 小澤明人 溝端良太 濱本 学 松島哲弥 餅越竜也 大谷啓尊 沖西正圭 椰野浩司 丸岡 隆 高取克彦	動作のメカニズムがよくわかる 実践！動作分析		128-134	2016
5	臨床家のための実践からの事例研究	小委武陸 山川雅史	PNF FUN!	10	17-20	2016

(2) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	摂食嚥下障害患者に対するバクロフェン髄注療法術前後のVF における検討	廣谷典子	第21回日本摂食嚥下リハビリテーション学会	口演	2015.9.12
2	当院における周術期がん患者のリハビリテーションについて	藤野文崇	リハケア合同研究大会	口演	2015.10.3
3	レッドコードを使用した股関節外転筋強化への取り組み	山川雅史	日本レッドコード学会	一般演題	2016.2.7

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
4	リハビリテーション実施中の急変時対応の取り組み	藤原良太	第9回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	シンポジウム	2016.2.27
5	当院救命救急センターにおけるリハビリテーション科と看護部の取り組み—第2報—	大野直紀	第9回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	口演	2016.2.27

(3) 研究会・講演会

番号整理	演 題	発 表 者	研 究 会 名	年 月 日
1	人工股関節置換術後症例に対するロボット歩行の有効性	山川雅史	本田技研工業 ロボット歩行研究会	2015.7.26
2	市民公開講座「がんのリハビリテーション」	石田恭子		2015.10.17
3	栄養管理と嚥下～低栄養により嚥下障害をきたした患者の経過～	廣谷典子	第21回泉州地区NST研究会	2015.10.31
4	全日本ジュニアバドミントン研修合宿「頸部と肩甲骨・肩関節のストレッチ」	貴志悠矢	全国高等学校バドミントン協会	2016.1.6

(4) 学術講演・講義

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	当院における糖尿病教育入院患者の退院後運動療法の継続状況について	河野真也	第58回日本糖尿病学会年次学術集会	2015.5.22
2	言語聴覚療法の現状と動向	一柳律子	日本言語聴覚士協会基礎講座	2015.7.12
3	PNF肩甲帯パターンについて	藤野文崇	日本PNF協会	2015.7.12
4	PNF下肢パターンについて	山川雅史	日本PNF協会	2015.10.18

(5) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
1	新人看護師向け移乗ポジショニング講習会	藤田将敬 岡田仁志	新人看護師向け移乗ポジショニング講習会	2015.4.24
2	摂食・嚥下評価	廣谷典子	NST専門療法士研修 前期・後期	2015.6.9 2015.12.8
3	7海看護師への移乗講習会	藤田将敬 山川雅史		2015.6.15 2015.6.18
4	サルコペニア(筋減弱症)を知って貯筋をしよう～サルコペニアがもたらす問題～	廣谷典子	生活習慣病予防教室(第5回)	2015.10.8
5	フットケア	石田恭子	生活習慣病予防教室	2016.2.18
6	作業療法ってなんだろう	藤田将敬 黒木真生	市民健康講座	2016.2.20

研究業績：共同運営部門 相談支援室・がん相談支援センター

(1) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
1	がん相談支援センターの役割～効果的な社会資源の活用～	下村恭子	第4回泉州がん医療フォーラム 希望あふれるがん治療 ～チームで立ち向かう、あきらめない個別化治療～	2015.9.6

研究業績：共同運営部門 泉州南部卒後臨床シミュレーションセンター (サザンウィズ)

(1) 和文原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	救急放射線技術に関連した off the job training の受講の実態調査	平井国雄 大保 勇 住田知隆 宇内大祐 嶋崎龍洋 高橋大樹 玉井 勲 山田尚史 坂下恵治	日本臨床救急医学会雑誌	18(5)	650-657	2015
2	救急放射線技術の安全管理と救急撮影認定技師	坂下恵治	Rad Fan	14(1)	58-60	2016

(2) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	救急1 救急放射線技術の現状と課題	坂下恵治	第71回日本放射線技術学会総会学術大会 技術活用セミナー1(横浜)	口演	2015.4.17
2	診療放射線技師の背景を考慮した BLS 訓練環境の提案	蘆原友里 坂下恵治	第18回日本臨床救急医学会総会・学術集会	口演	2015.6.4
3	講演1 救急医療現場で診療放射線技師に求められる役割	坂下恵治	2015年度日本放射線技術学会第1回中部支部学術セミナー(金沢)	口演	2015.6.13
4	経過観察のための病棟撮影と確認画像実習	坂下恵治	公益社団法人日本放射線技術学会第1回救急撮影セミナー(実践編)(東京)	口演	2015.9.13
5	特別講演 I 胸部・骨盤領域の救急撮影とその読影	坂下恵治	公益社団法人大分県放射線技師会第23回大分県放射線技術研究会(大分)	口演	2015.10.24
6	基調講演 部門における職業意識の自覚と活性の維持について	坂下恵治	公益社団法人大阪府放射線技師会第25回学術大会(大阪)	口演	2015.10.25
7	教育講演 II 救急を知り画像を読むこと	坂下恵治	公益社団法人日本放射線技術学会第34回東京支部秋期学術大会(東京)	口演	2015.11.28
8	技術教育講座 I 救急放射線画像の求めるものとその根拠について	坂下恵治	公益社団法人日本放射線技術学会近畿支部 第59回学術大会(京都)	口演	2016.1.24
9	基調講演 救急診療をになう診療放射線技師の役割	坂下恵治	公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 救急放射線シンポジウム(鹿児島)	口演	2016.2.6

(3) 学術講演・講義

番号整理	演 題	発 表 者	学 術 講 演 会 名	年 月 日
1	チーム医療の推進と診療放射線技師の役割	坂下恵治	公益財団法人医療研修推進財団 2015年度診療放射線技師新人研修会(大阪)	2015.6.27
2	救急撮影における診療放射線技師のスキルについて	坂下恵治	一般社団法人山口県診療放射線技師会 夏季講習会(山口)	2015.7.26
3	記念講演 救急医療における撮影技術とJERTの取り組み	坂下恵治	川崎医療短期大学 2015年度授章式・講演会(倉敷)	2015.9.26
4	患者急変時の適切な対処	坂下恵治	公益財団法人医療研修推進財団 診療放射線技師実習施設指導者等養成講習会(神戸)	2015.10.4
5	外傷診療に求められる読影の補助	坂下恵治	日本救急撮影技師認定機構 救急撮影講習会(仙台)	2015.10.17
6	実際の救急現場に必要とされる感染対策・患者安全等	坂下恵治	日本診療放射線技師養成課程心肺蘇生法普及委員会第1回放射線診療下における気づきコース(大阪)	2015.11.15
7	救急医療の現状と知っておくべき事柄	坂下恵治	文部科学省2015年度「課題解決型高度医療人材養成プログラム」第2回臨地実習指導者講習会(九州大学)	2016.1.23
8	救急診療における診療放射線技師の役割	坂下恵治	日本救急撮影技師認定機構 救急撮影講習会(岡山)	2016.2.13

(4) 座長

番号整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	第64回撮影部会ワークショップ より良い撮影技術を求めて	坂下恵治	第71回日本放射線技術学会 総会・学術大会	2015.4.18
2	救急医療と診療放射線技師(1)	坂下恵治	第18回日本臨床救急医学会 総会・学術集会	2015.6.4
3	講演1-3 座長	坂下恵治	公益社団法人日本診療放射線技師会第6回読影セミナー(東京)	2015.7.5
4	講演5-6 座長	坂下恵治	公益社団法人日本診療放射線技師会第8回読影セミナー(大阪)	2016.2.7
5	WS-1 診療放射線技師業務のパラダイムシフト 座長	坂下恵治	第31回日本環境感染学会 総会・学術集会	2016.2.19

研究業績：看護局

(1) 和文原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	看護職者の学習ニーズと教育ニーズとの相関～クリニカルラダーによる検討～	井出由起子	第46回日本看護学会 看護管理 福岡日本看護協会			2015

番号 整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
2	「安全・迅速・確実！」ちょっとした処置から外傷まで”4あ”のいつもの手技“コツ&ポイント	藤原由子	専門誌「隔月刊」救急看護トリアージの強化 特集記事 日総研出版	6・7月号		2015
3	患者対応	中村美穂	月刊ナーシング 株)学研メディカル秀潤社	1月号		2015
4	同時発生多重課題	川島孝太	月刊ナーシング 株)学研メディカル秀潤社	1月号		2015

(2) 国内学会報告

番号 整理	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	看護職者の学習ニーズと教育ニーズとの相関～クリニカルラダーによる検討～	井出由起子	第46回日本看護学会 看護管理福岡	口頭	2015.9.8-9
2	救命救急センターICUに入院した外傷患者の抜管後3日間におけるせん妄発症リスク要因	下田美由紀	第17回救急看護学会 学術集会佐賀	口頭	2015.10.16-17
3	睡眠時無呼吸症候群を有する循環器疾患患者へのNPPV導入率向上の取り組み	西村紗希	第19回日本心不全学会学術集会大阪	口頭	2015.10.22-24
4	ERASを用いた大腸切除パス	藤田恵美	第15回日本クリニカルパス学会	口頭	2015.11.13-14
5	A病院における院内教育プログラムの評価～「日本型看護職者キャリア・ディベロップメント支援システム」の活用～	井出由起子	第9回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	口頭	2016.2.27
6	入院前から運用するクリニカルパス導入への取り組み～入退院サポートセンターと連携して～	竹下圭介	第9回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	口頭	2016.2.27
7	産科情報連携システムの導入～なすびんネットを利用して～	福島ひとみ	第9回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	口頭	2016.2.27
8	ウォーターレス法導入後の手術時手指消毒の現状と課題	山下真琴	第9回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	口頭	2016.2.27
9	心臓血管手術後の抜管に至った患者の抜管遅延に影響を及ぼす要因	松裏 豊	第9回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	口頭	2016.2.27
10	循環器病棟における日勤帯での内服インシデントの現状調査～インシデント減少に向けたパートナーシップ看護～	小川健太	第9回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	口頭	2016.2.27
11	急性期におけるびまん性軸索損傷患者への意識障害改善へのケア	山出奈々	近畿救急医学研究会	口頭	2016.3.12

(3) 講師・ファシリテーター

番号 整理	演題	講師 ファシリテーター	研修・セミナー	講演場所	年月日
1	看護サービス提供論 (看護サービスの安全管理)	藤野正子	認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修	大阪府看護協会 桃谷センター	2015.5.22 2015.10.16 2016.1.20
2	地球理解講座	新垣智子	泉佐野地球交流協会地球理解講座	エブノ泉の森ホール	2015.5.24
3	敗血症と循環管理	山田友子	日本集中治療医学会主催 敗血症セミナーin岡山	岡山大学Junko Fukutake Hall	2015.5.24
4	病院で治療を受ける外国籍患者・家族への対応	新垣智子	病院で治療を受ける外国籍患者・家族への対応	日本看護協会神戸研修センター	2015.6.5
5	救急看護2演習①②③④	中村美穂 吉田恵子	2015年度研修No.45～48 共通5	大阪府看護協会 桃谷センター	2015.7.10
6	心不全患者の症状マネジメント 主な症状への看護支援	壽慶奈津子	2015年度慢性心不全看護認定看護師教育課程	兵庫県看護協会	2015.7.15 2015.7.29 2015.8.10 2015.9.18
7	看護倫理	北村愛子	2015年度救急看護認定看護師教育課程	大阪府看護協会 桃谷センター	2015.7.21
8	ストーマケア、創傷管理、失禁などの基礎知識についての講義と演習	高橋敏枝	関西ストーマケア講習会 関西STOMA研究会	大阪市立総合医療センター	2015.8.7-9
9	糖尿病ケアの質向上を図るため、フットケアについての専門的な知識・技術を身につける	西村直美	2015年度研修 糖尿病看護シリーズ「糖尿病重症化予防フットケア研修」	大阪府看護協会 桃谷センター	2015.8.8-9

番号整理	演 題	講師 ファシリテーター	研修・セミナー	講演場所	年 月 日
10	救急患者のフィジカルアセスメント「生体の構造と機能」	二藤真理子	第2回救急看護認定看護師教育課程入試策門委員会	和歌山県看護研修センター	2015.10.7
11	JNTECプロバイダーコース	二藤真理子	JNTECプロバイダーコース	宝塚大学大阪梅田キャンパス	2015.10.10-11
12	実践報告「エボラ出血熱疑い患者を受け入れ時の経験と問題点」	大野博美	第134回中材業務及び感染対策研究会	大阪国際会議場(グランキューブ大阪)	2015.10.17
13	世界に発信しよう 我が国の感染制御	山内真澄	第31回日本環境感染学会総会・学術集会シンポジウム14	国立京都国際会館	2016.2.19-20

(4) 看護学校講師

番号整理	講 義 内 容	講 師	所属部署	学 校	講義回数
1	ICU看護	井畑美穂	ICU.CCU	泉佐野泉南医師会看護専門学校	4時間
2	脳神経系疾患看護	村野晃子	5海	泉佐野泉南医師会看護専門学校	10時間
3	脳神経系疾患看護	萩野亨子	5海	泉佐野泉南医師会看護専門学校	8時間
4	内分泌代謝疾患看護(成人I)	西村直美	外来	泉佐野泉南医師会看護専門学校	8時間
5	循環器疾患看護	寿慶奈津子	7山	泉佐野泉南医師会看護専門学校	8時間
6	消化器系疾患看護(外科)	兒嶋洋巳	8海	泉佐野泉南医師会看護専門学校	8時間
7	糖尿病・内分泌疾患看護(成人II)	西村直美	外来	泉佐野泉南医師会看護専門学校	8時間
8	腎・泌尿器疾患看護	田守杏子	6海	泉佐野泉南医師会看護専門学校	4時間
9	血液・造血器疾患看護	久保仁志	8山	泉佐野泉南医師会看護専門学校	6時間
10	運動器疾患看護	榊原由紀	7海	泉佐野泉南医師会看護専門学校	8時間
11	呼吸器疾患看護	藤原春菜	8海	泉佐野泉南医師会看護専門学校	4時間
12	感染看護	山内真澄	感染管理CN	泉佐野泉南医師会看護専門学校	6時間
13	化学療法看護	森 沙苗	外来	泉佐野泉南医師会看護専門学校	4時間
14	手術中看護	桑原深雪	OP	泉佐野泉南医師会看護専門学校	4時間
15	母性看護・マタニティ異常	乾 理絵	6山	泉佐野泉南医師会看護専門学校	8時間
16	創傷のケア	高橋敏枝	地域連携	泉佐野泉南医師会看護専門学校	4時間
17	臨床看護方法論II 救急看護	山田友子	E-ICU	泉佐野泉南医師会看護専門学校	10時間
18	看護の統合と実践II リスクマネジメントの実際	河野純子	安全管理室	泉佐野泉南医師会看護専門学校	4時間
19	国家試験対策 化学療法	森 沙苗	外来	泉佐野泉南医師会看護専門学校	90分
20	国家試験対策 創傷管理・褥瘡	高橋敏枝	地域連携	泉佐野泉南医師会看護専門学校	90分
21	国家試験対策 糖尿病	西村直美	外来	泉佐野泉南医師会看護専門学校	90分
22	国家試験対策 循環器系	寿慶奈津子	7山	泉佐野泉南医師会看護専門学校	90分
23	国家試験対策 感染看護	山内真澄	感染対策室	泉佐野泉南医師会看護専門学校	90分
24	熱傷患者の看護	山田友子	E-ICU	関西医療大学	90分
25	外傷患者の看護	二藤真理子	E-ICU	関西医療大学	90分
26	呼吸障害を呈し呼吸管理を必要とする患者の看護	松嶋寿和	5海	関西医療大学	90分
27	クリティカルケアの看護管理・医療安全	川島孝太	ICU.CCU	関西医療大学	90分

(5) 座長

番号整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	一般公演12 6題	鈴木千晶	第9回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	2016.2.27

研究業績：各業務 医療安全管理室

(1) 学術講演・講義

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	看護の統合と実践II リスクマネジメントの実際	河野純子	泉佐野泉南医師会看護学校講義	2015.7.14

研究業績：各業務 院内感染対策室

(1) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	ICTラウンドにおけるカンジダ菌血症への取り組み	須合恵美	第58回日本感染症学会中日本地方会学術集会	口演	2015.10.15

番号 整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
2	救急分野における感染対策の重要性と課題	倭 正也	第31回日本環境感染学会総会学術集会	口演	2016.2.19

(2) 研究会・講演会

番号 整理	演 題	発 表 者	研 究 会 名	年 月 日
1	りんくう総合医療センターにおけるICTの活動	山内真澄	感染症フォーラム	2016.1.20

(3) 学術講演・講義

番号 整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	感染管理	山内真澄	泉佐野泉南医師会看護学校	2015.11.19 2015.11.27
2	感染看護 国家試験対策	山内真澄	泉佐野泉南医師会看護学校	2016.1.18

(4) 院内研究活動

番号 整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
1	感染対策	倭 正也	2015年度りんくう総合医療センター新規採用者研修	2015.4.2
2	中東呼吸器症候群(MERS) ～韓国での感染拡大を受けて～	倭 正也	2015年度院内感染対策研修会、感染症センター運営委員会研修会	2015.6.8 2015.6.11
3	やさしい耐性菌のはなし	藤岡 研	2015年度院内感染対策研修会	2015.6.17
4	感染を広げないために	藤岡 研	2015年度院内感染対策DVD研修会	2015.9.7

研究業績：各業務 地域医療連携室

(1) 国内学会報告

番号 整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	地域医療支援病院としての地区医師会在宅医療コーディネーターへの関わり	中西 賢 ¹⁾ 松若良介 ²⁾ 坂本津奈子 ³⁾ 松本二郎 ⁴⁾ りんくう総合医療センター 地域医療連携室 ¹⁾ 、松若医院 ²⁾ 、レジデンスケアアラサくら ³⁾ 、松本内科胃腸科 総務部 ⁴⁾	第54回全国自治体病院学会	ポスター	2015.10.8
2	泉州南部診療情報ネットワークシステム「なすびんネット」の導入実績と今後の可能性	中西 賢 ¹⁾ 井上理生 ²⁾ 斎喜賢吾 ³⁾ 中野郁子 ⁴⁾ 馬詰 厚 ⁵⁾ りんくう総合医療センター 医療マネジメント課地域医療連携室 ¹⁾ 、りんくう総合医療センター経営戦略室 ²⁾ 、市立貝塚病院 医事課 ³⁾ 、市立貝塚病院 地域医療連携室 ⁴⁾ 、阪南市民病院 地域連携室 ⁵⁾	第9回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	口演	2016.2.27
3	なすびんネット導入により得られる効果	前田廣明 ¹⁾ 中西 賢 ¹⁾ 井上理生 ²⁾ りんくう総合医療センター 医療マネジメント課地域医療連携室 ¹⁾ 、りんくう総合医療センター経営戦略室 ²⁾	第9回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	口演	2016.2.27
4	多職種で取り組む退院支援の現状と課題について	元林 賢 ¹⁾ 高橋敏枝 ²⁾ 渡邊久代 ²⁾ 倉 朋子 ¹⁾ 岸上恵子 ¹⁾ 原 佐織 ¹⁾ 山中 力 ¹⁾ 野口真右 ¹⁾ りんくう総合医療センター 医療マネジメント課 地域医療連携室 ¹⁾ 、りんくう総合医療センター 看護局 ²⁾	第9回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	口演	2016.2.27